

令和7年度 第3回 江東区みどりの基本計画推進会議 次 第

日時：令和8年3月26日（木）

（書面開催）

1 議題

- (1) 令和7年度事業進捗について (資料2-1～4、参考2,3)
- (2) (仮称)江東区街路樹植栽ガイドラインの策定について (資料3、参考4,5)
- (3) (仮称)江東区公園マスタープランについて (資料4)
- (4) 保護樹木制度について (資料5)

2 その他

配布資料

- 次第（本紙）
- 資料1：江東区みどりの基本計画推進会議 委員名簿
- 資料2-1：令和7年度みどりの基本計画事業進捗管理表
- 資料2-2：令和7年度重点プロジェクトの取組
- 資料2-3：令和7年度新規・レベルアップの取組
- 資料2-4：グリーン・コミュニティ会議の活動報告について
- 資料3：「(仮称)江東区街路樹植栽ガイドライン」の策定について
- 資料4：「(仮称)江東区公園マスタープラン」について
- 資料5：保護樹木制度の改定について
- 参考1：第2回みどりの基本計画推進会議についてのご意見とその回答について
- 参考2：令和7年度みどりに関する取組
- 参考3：令和7年度における各公園指定管理者等の取組
- 参考4：(仮称)江東区街路樹植栽ガイドライン（案）
- 参考5：第2回みどりの基本計画推進会議における「(仮称)江東区街路樹植栽ガイドライン」へのご意見に対する対応
- 意見等回答様式

江東区みどりの基本計画推進会議 委員名簿

資料 1

令和8年3月26日 現在

職名	氏名	現職等	
会長	島田 正文	一般社団法人日本公園緑地協会 研究顧問	学識経験者
副会長	柳井 重人	千葉大学 大学院園芸学研究院 教授	
委員	橋本 敏之	枝川2・3丁目町会	町会及び 自治会代表
委員	八木澤 あや子	公募区民	公募区民
委員	葭葉 抄子	公募区民	
委員	美濃又 哲男	みどりネットKoto 代表	みどりの 活動団体
委員	須永 徹子	NPO法人江東区の水辺に親しむ会 理事長	
委員	佐々木 貴智	NECソリューションイノベータ株式会社	みどりの 活動事業者
委員	渡部 陽介	清水建設株式会社 技術研究所	
委員	小林 英忠	第五砂町小学校 校長	小学校長会代表

区職員

職名	氏名	現職等
委員	石井 康弘	土木部長
委員	山田 英典	土木技術担当部長
委員	小林 愛	企画課長
委員	山口 貴則	営繕課長
委員	上原 新次	地域振興課長
委員	岩田 勉	保育政策課長
委員	西谷 淳	温暖化対策課長
委員	谷川 寿朗	都市計画課長
委員	清田 光晴	管理課長
委員	召田 和也	道路課長
委員	古木 健人	河川公園課長
委員	大野 俊明	施設保全課長
委員	西尾 基宏	学校施設課長
委員	金指 大輔	指導室長

令和7年度みどりの基本計画事業進捗管理表

評価指標凡例 A : 達成率 (80%~100%) B : 達成率 (50%~79%)
 C : 達成率 (1%~49%) 未実施
 — : 定量的評価が難しいもの

資料2-1

令和8年3月31日時点

実施方針	施策	令和7年度実績					計画								
		計画	実績	内容	評価		計画	内容	今後の方向性	令和9年度 計画	令和10年度 計画	令和11年度 計画	担当部署等		
					指標	達成度								評価内容	計画
2 みどりをより気軽に使えるようにします															
2-1 みんなが楽しく使える公園づくり															
2-1-1 地域や利用者に求められる公園をつくります	●公園改修・児童遊園改修事業【改修・増設実施】 ●重点プロジェクト	検討・改修	検討・改修	検討・改修	A	—	公園等の改修にあたっては、地域のニーズを反映するため、市民相談や地元会からの要望等を踏まえ、工事を実施した。	検討・改修	検討・改修	地域のニーズを反映しながらコミュニティ醸成につながる公園等の整備・改修を計画的に実施	検討・改修	検討・改修	検討・改修	土木部河川公園課	
	●公園・児童遊園整備事業 ●公園・児童遊園改修事業	高砂緑道公園公園(大規模改修)2園 公園(小規模改修)5園 児童遊園(大規模改修)2園 児童遊園(小規模改修)3園	高砂緑道公園(職務員園)(大規模改修)1園 公園(小規模改修)5園 児童遊園(大規模改修)2園 児童遊園(小規模改修)3園	地域のニーズを反映しながらコミュニティ醸成につながる公園等の整備・改修を計画的に実施	A	91%	公園大規模改修のうち1園が工期延長により令和8年度の竣工予定となったため、達成度は91%とした。	高砂緑道公園公園(大規模改修)3園 公園(小規模改修)5園 児童遊園(大規模改修)2園 児童遊園(小規模改修)3園	地域のニーズを反映しながらコミュニティ醸成につながる公園等の整備・改修を計画的に実施	実施	実施	実施	実施	土木部河川公園課	
	●公園・児童遊園・遊歩道維持管理事業 ●河川維持管理事業	実施	実施	樹冠の確保など適正な維持管理を行い、緑陰の確保や魅力ある良好な景観形成を図る。	A	100%	地元要望による剪定等に対しても極力、樹冠を確保し維持管理を行った。	実施	樹冠の確保など適正な維持管理を行い、緑陰の確保や魅力ある良好な景観形成を図る。	実施	実施	実施	実施	土木部施設保全課	
	●公園施設長寿命化計画策定事業	検討	検討	事業実施に向けて調査・研究	—	—	統合型GISシステムの導入を踏まえた検討が必要。	検討	事業実施に向けて調査・研究	事業実施に向けて調査・研究	検討	検討	検討	土木部河川公園課	
	●公園マスタープラン策定事業【重点プロジェクト(後期)】	策定	実施	公募型プロポーザルにて、委託事業者を選定した。令和7年度は、現状・課題の把握、区民アンケート・公園利用実態調査・関係団体ヒアリングの実施、計画の枠組みの整理・検討、自衛等の検討を行った。策定委員会1回、幹事会2回の開催。	A	100%	スケジュールとおりの進捗のため、100%とした。検討を進める中で、地域ごとの実情やニーズに即したプラン策定の必要性が求められたため、令和8年度に地区別公園利用者ニーズ調査(オープンハウス形式予定)を追加して実施することとした。	策定	策定	令和8年度は、地区別公園利用者ニーズ調査の実施、各地区や地区別計画の検討、自衛達成に向けたロードマップ及び計画達成の検討を行い、(仮称)地区別公園マスタープランを策定する。策定委員会3回、幹事会3回の開催予定。	—	—	—	土木部河川公園課	
	●区民スポーツ普及と振興事業(スポーツイベントの開催)	実施	イベント実施1回	東京2020大会会場の海の森水上競技場で小学4年生~6年生を対象とした、カヌースプリントレースを開催。	A	100%	スプリントレースへの参加者数は昨年度とほぼ一緒だったものの、令和7年に東京で開催予定の世界陸上・デフィニティブの両大会種を目的とした展示を行うなど、盛り上がるイベントとなった	実施	東京2020大会会場の海の森水上競技場で小学4年生~6年生を対象とした、カヌースプリントレースを開催。	令和4年度以降は東京2020大会会場となった海の森水上競技場にて開催を予定。	実施	実施	実施	実施	地域振興課スポーツ振興課
	●サード・プレイスとなる居場所づくり	民間による取り組み(「みどりに親しみ、楽しむスポーツ教室」、「パークヨガ」、「季節を感じるウォーキング」等)	民間による取り組み(陣田川オープンテラス等)					推進	推進	推進	推進	推進	推進	民間	
	●健康増進事業(ウォーキングマップの更新)	実施	ウォーキングマップの見どころ等を更新し増幅。 ウォーキングマップを活用した事業を実施。	健康づくりポイント提供事業(こうどう健康チャレンジ)において、ウォーキングマップ活用ポイントを設定し、コースを歩いた参加者へポイント付与、ウォーキングマップを活用した事業を実施。	A	100%	ウォーキングマップの見どころ等を更新し、20,000部増刷した。アアプリ上でウォーキングマップのコースを利用した人数は延べ5,571人(令和7年12月末現在)であり、ウォーキングマップを活用し事業実施することができた。	未定	健康づくりポイント提供事業(こうどう健康チャレンジ)において、ウォーキングマップ活用ポイントを設定し、コースを歩いた参加者へポイント付与、アアプリ内でウォーキングマップのコースを掲載。	ウォーキングで健康づくりに取組む区民の拡大に向けた取り組みを検討	未定	未定	未定	健康部健康推進課	
	2-1-2 みんなで魅力ある公園をつくります														
	●木場輪による公園管理運営の仕組みづくり	民間による取り組み(豊洲グリーン100プロジェクト(豊洲グリーンパークマネジメントJV)等)						推進	推進	推進	推進	推進	推進	民間	
●岩洲公園整備事業【重点プロジェクト】	実施	実施	工事	A	100%	計画どおり実施のため達成度を100%とした。	実施	工事	特定公園施設等の整備工事を実施予定。Park+PFI事業でも、公営対象公園施設の整備工事を実施予定。	リニューアルオープン	—	—	土木部河川公園課		
●水辺地区立公園内原っぱ整備事業	検討	検討	原っぱの活用方法を検討	—	—	公園マスタープランの中で検討中。	検討	原っぱの活用方法を検討	地域ニーズや地元要望の公園マスタープランに基づき、整備・活用について検討を行っていく。	検討	検討	検討	土木部河川公園課		
●マルシェ、イベント、プレーパーク等の普及	民間による取り組み(和船乗船会、お江戸深川さくらまつり、湾岸まつり、水辺サロンの、小水川リバーツア、てくてく水辺ウォーク等)、令和7年度は大馬九丁目すぐく公園で行政主催のイベントを実施。						推進	推進	推進	推進	推進	推進	民間		
●木場輪による公園管理運営の仕組みづくり	推進						推進	推進	推進	推進	推進	推進	民間		
2-2 みどりを愛するコミュニティづくり															
2-2-1 みどりを愛するコミュニティづくり	●CIG民間緑化推進事業(みどりのコミュニティづくり講座)	4回	4回	ベランダという身近な場所から気軽に始められるガーデニング講座を実施し、地域の活動へ広げるきっかけを提供	A	100%	計画どおり実施のため達成度を100%とした。また、受講者アンケートは概ね「満足」と回答を得ている。課題は、受講者をコミュニティガーデンなど地域の活動へ繋げることである。	4回	ベランダという身近な場所から気軽に始められるガーデニング講座を実施し、地域の活動へ広げるきっかけを提供	今後も継続して実施	4回	4回	4回	土木部管理課	
●みどりのボランティア活動支援事業(コミュニティガーデン活動団体への支援)	実施	実施	資材や花苗の提供、技術支援、ボランティア同士の交流会開催など	A	100%	計画どおり支援事業を実施した。9団体が新たに活動をはじめ、85団体となった。今後は、団体のつながりやメンバーの刷新促進等を促す必要がある。	実施	資材や花苗の提供、技術支援、ボランティア同士の交流会開催など	今後も継続して実施	実施	実施	実施	土木部管理課		
2-2-2 みんなを豊体験できる場所をつくります	●高齢及び区民農園維持管理事業	実施	実施	引き続き野菜や草花を栽培するレクリエーションの場を提供した。	A	100%	各農園の申し込み倍率が3.4~11.0倍と高くなっている。区画数を増やすなどの検討が必要である。	実施	引き続き野菜や草花を栽培するレクリエーションの場を提供する。	継続して実施	実施	実施	実施	土木部施設保全課	
●みどりのボランティア活動支援事業(田んぼの学校運営助成)	実施	実施	運営協力団体の事業計画に基づき、「田んぼの学校」(30世帯99名参加)を遂行した。	A	100%	応募倍率が7.8倍と高くなっており、募集世帯を増やすなどの検討が必要である。	実施	運営協力団体の事業計画に基づき、「田んぼの学校」を遂行する。	継続して実施	実施	実施	実施	土木部施設保全課		

令和7年度みどりの基本計画事業進捗管理表

評価指標凡例 A : 達成度 (80%~100%) B : 達成度 (50%~79%)
 C : 達成度 (0%~49%) 未実施
 — : 定量的な評価が難しいもの

資料2-1

令和8年3月31日時点

実施方針の柱	施策	令和7年度実績						計画						
		計画	実績		評価		計画	令和8年度		今後の方向性	令和9年度	令和10年度	令和11年度	担当部署等
			内容	指標	達成度	評価内容		内容	内容					
3 みどりを安全と生命を守るために実施されます														
3-1 みどりを変える安全・安心なまちづくり														
3-1-1 みどりで災害に強いまちをつくりまします	●不燃化特区推進事業、不燃化特区整備事業 ★今後実施(完了)すべき事業 ●防火網欄付遊歩道の設置等に関する事業 ●美世川河川・堤防の樹林事業	対象なし	1か所	令和7年度は、不燃化小規模空地(広場・公園)の取得。	A	100%	不燃化小規模空地(広場・公園)を取得するため	実施	令和8年度は公園整備を開始し、令和9年1月に開園予定。	「北砂3-04-1丁目地区まちづくり方針」に基づき、南前川低層組合と河川公園課とで自主管理協定を締結し、管理に向け協議していく。	未定	未定	未定	都市整備部安全部キャブ課
	●まちづくり事業と連携したオープンスペースの確保	民間による取り組み(湖見プロジェクト「温故創新の森 NOVARE(ノヴァレ)」(清水建設株式会社))						推進						民間
	●みどりのまちなみづくり事業(花壇等、屋上等助成) 【重点プロジェクト(前期)】	実施	5件	花壇・屋上等	—	—	令和7年度の助成相談件数は20件、助成件数は5件だった。助成対象を拡充したが、助成件数の増加につながった。	実施	花壇・屋上等	引き続き、よりニーズに合った助成内容や手続きの簡略化を検討していく。	実施	実施	実施	土木部管理課
	●街路樹等維持管理事業(街路樹の樹木健全度調査) 【重点プロジェクト】	調査及び伐採	調査420本(予定) (令和8年2月末日現在)	調査による伐採	A	100%	伐採後の補植時期やそれまでの期間における植栽の維持管理について検討が必要である	調査及び伐採	調査による伐採	今後とも継続して実施し、倒木の危険性があるものは計画的に伐採	実施	実施	実施	土木部施設保全課
3-1-2 身近な公園の防災機能を強化します	●船着場維持管理事業(災害時における舟運の活用)	実施	定期点検(10月時点) (令和8年3月末時点)	観光、旅客運送等水辺空間の活用、防災時のための機能維持をした。	A	100%	観光、旅客運送等の舟運活性化に向けた検討が必要である。	実施	観光、旅客運送等水辺空間の活用、防災時のための機能維持をした。	継続して維持	実施	実施	実施	土木部施設保全課
	●公園改善事業(公園施設の防災機能強化) 【重点プロジェクト】	検討	検討	地域ニーズに基づき設置を検討していく	—	—	地域の意向や現地の状況等を鑑み、7年度は設置は見送った。今後とも引き続き地域のニーズに基づき設置を検討していく。	検討	地域ニーズに基づき設置を検討していく	区立公園のうち、関東大震災による守都復興計画に基づき、復興小学校に隣接して整備された復興小公園について、避難避難所として防災機能の充実を検討していく。他の公園においては地元町会の意見など、地域のニーズに基づき設置を検討していく。	検討	検討	検討	土木部河川公園課
3-2 みどりを変える快適なまちづくり	●危機管理訓練事業(市民啓発の場としての公園活用)	R6~8年度は事業中止。 ※防災イベントを行う小倉木川小学校の大規模改修工事による一時移転のため。	未実施	小学校の児童へ防災公園の機能を伝えるイベントを実施	未実施	—	R6~8年度は事業中止。 ※防災イベントを行う小倉木川小学校の大規模改修工事による一時移転のため。	R6~8年度は事業中止。 ※防災イベントを行う小倉木川小学校の大規模改修工事による一時移転のため。	小学校の児童へ防災公園の機能を伝えるイベントを実施	R9年度以降は、防災イベントを行う学校の要請により再開予定。 ※小倉木川小学校の大規模改修工事計画期間によっては、変更の可能性あり。	未定	未定	未定	総務部防災計画課
	●公園維持管理事業(樹木維持管理) 【重点プロジェクト】	実施	実施	公園内樹木等の適切な維持管理を実施。	A	100%	公園内樹木等の適切な維持管理を行った。	実施	公園内樹木等の適切な維持管理を実施。	公園内樹木等について、樹種の育成に合わせた適切な維持管理を行い、みどりあふれる快適なまちを形成する	実施	実施	実施	土木部施設保全課
	●街路樹等維持管理事業(街路樹維持管理) 【重点プロジェクト/再掲】	1-2-2 ●街路樹等維持管理事業と同じ												土木部施設保全課
	●河川維持管理事業(樹木維持管理) 【重点プロジェクト】	実施	実施	河川内樹木等の適切な維持管理を行った。	A	100%	河川内樹木等について適切な維持管理を行い、みどりあふれる快適なまちを形成	実施	河川内樹木等の適切な維持管理を実施	河川内樹木等について、樹種の育成に合わせた適切な維持管理を行い、みどりあふれる快適なまちを形成する	実施	実施	実施	土木部施設保全課
3-2-2 みどりで地球温暖化にやさしいまちをつくりまします	●環境学習情報発信推進事業(みどりのカーテン設置) ●水防対策事業(雨水流出抑制の推進)	実施	実施	江東区環境学習情報館(えここくる江東)にみどりのカーテンを設置	A	100%	計画通りみどりのカーテンを設置した	実施	江東区環境学習情報館(えここくる江東)にみどりのカーテンを設置	江東区環境学習情報館(えここくる江東)にみどりのカーテンを設置	実施	実施	実施	環境清浄部温暖化対策課
	●水防対策事業(雨水流出抑制の推進)	実施	実施	56件(令和8年3月末時点)	—	—	雨水流出抑制の手引き(江東区雨水流出抑制対策実施要領)に基づき、雨水流出抑制の指導を実施	実施	実施	引き続き指導を実施	実施	実施	実施	土木部河川公園課

基本方針1 水辺の緑化推進プロジェクト

事業	内容	R7計画	R7実績(3.31時点)
水辺・潮風の散歩道整備事業	散歩道整備	潮風の散歩道 466m	潮風の散歩道 466m
CIG公共緑化(屋上・壁面緑化)	屋上・壁面緑化	対象なし	対象なし
CIG公共緑化(風の道緑化)	橋台敷地緑化	2橋	2橋
CIG公共緑化(公園内接道緑化)	公園接道部緑化	8園	8園
CIG公共緑化(シンボルツリー)	駅前緑化	2か所	2か所
CIG公共緑化(地域特性緑化)	地域特性緑化	実施	未実施
CIG公共・民間緑化推進事業 (KOTOみどりの庭プロジェクト)	ナチュラルスティック ガーデン整備	1か所	1か所

【CIG公共緑化(地域特性緑化)】
牡丹町地域の特性に応じた樹種として、ボタンを植栽し、古石場川親水公園(大横川～関口橋)に「牡丹の道」を形成。先行する都の護岸工事の遅延により、令和8年度施工に変更



潮風の散歩道(辰巳運河) ナチュラルスティックガーデン

基本方針2 みんなでつくる公園プロジェクト

事業	内容	R7計画	R7実績(3.31時点)
若洲公園整備事業	Park-PFIを活用した大規模リニューアル	実施	実施
公園改修・児童遊園改修事業 (改修・機能再編)	地域のニーズを反映した改修	検討・改修	検討・改修
公園マスタープラン策定事業	(仮称)江東区公園マスタープランの策定	策定(R7、R8)	実施

【若洲公園整備事業】

「若洲公園整備方針」を令和5年3月に策定し、メインテーマを【親子で過ごす江東区版ゼロカーボンパーク】として、令和9年4月開園に向けリニューアル中。令和7年度は整備工事を開始すると共に、大型遊具の設計にあたり、キッズアート階段をデザインするワークショップを実施。(57名参加(うち小学生26名))



若洲公園整備(ワークショップ)

基本方針3 安全・安心なまちづくりプロジェクト

事業	内容	R7計画	R7実績(3.31時点)
街路樹等/河川/公園維持管理事業	樹木の適切な維持管理	調査・実施	調査・実施
公園改修事業(防災機能強化)	かまどベンチ等設置	検討	検討

【街路樹等維持管理事業】

- ・倒木危険性に対する樹木健全度調査420本(伐採2本)(街路樹)
- ・景観や歩行空間の快適性の観点から、街路樹に関する維持管理や更新の方向性を示した(仮称)江東区街路樹植栽ガイドラインを策定中。
- ・公園マスタープランの策定における公園のあり方検討の中で防災機能についても検討中。



かまどベンチ



公園樹木維持管理



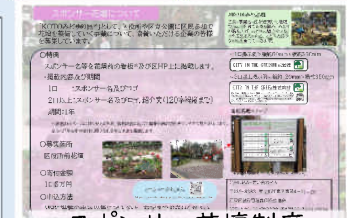
街路樹維持管理

基本方針4 みどりの中の都市(CITY IN THE GREEN)魅力発信プロジェクト

事業	内容	R7計画	R7実績(3.31時点)
CIG民間緑化推進事業 (江東区みどりの情報の発信)	区報や区ホームページ、SNS、CIGキャンペーンで情報発信	実施	実施
CIG民間緑化推進事業 (江東区みどり百景)	地域のシンボル等となるみどりの景色の情報発信とシニアプロモーションへの活用	選定 (深川地区・南部地区)	選定 (深川地区・南部地区)

情報発信

- 区報・HPのイベント掲載に合わせ、SNS(X、Facebook、Line)で発信：各4回
- 「KOTOみどりの庭スポンサー花壇」についてHPに掲載 閲覧数：464回(11月～)
- CIG推進キャンペーン：6回



スポンサー花壇制度

1 みどりを水彩都市・江東の魅力づくりに活かします

事業	内容	R7計画	R7実績
CIG公共・民間緑化推進事業 (KOTOみどりの庭プロジェクト)	ナチュラルスティックガーデン整備 (基盤整備工事+講座内での植付)	1か所	1か所
(仮称)江東区生物多様性地域戦略策定事業	生物多様性の保全、その恵みの持続的な利用や魅力的なまちづくりを進めるための生物多様性地域戦略の策定	策定	策定
みどりのまちなみづくり事業	「みどりのまちなみ緑化助成制度」で花壇・菜園、生垣、植樹帯、壁面緑化等の費用を助成。令和7年度から環境に応じてより自由に取り組めるよう、プランター、ハンギングバスケット、シンボルツリー緑化を助成対象に追加。	実施	実施 5件



ナチュラルスティックガーデン講座



生物多様性地域戦略の策定

OCIG公共・民間緑化推進事業(KOTOみどりの庭プロジェクト)

- ・花を用いた景観づくりや新たな緑化手法の発信等を行う場としてナチュラルスティックガーデンを整備。
- ・区民参加による花壇整備と、クラウドファンディングを活用した企業協賛金の募集により、地域でみどりを育てていくことで、みどりの魅力や大切さを効果的に広めていく。

ナチュラルスティックガーデン講座(全5回)参加者:30名 協賛スポンサー2社

○(仮称)江東区生物多様性地域戦略策定事業

令和7年度は計画策定にあたり、パブリックコメントを実施するとともに、外部有識者、区民、事業者、民間団体、行政等で構成された「江東区生物多様性地域戦略策定委員会」にて議論を重ね、「江東区生物多様性地域戦略」を策定した。また江東区生物多様性地域戦略について広く周知するため、大人・子ども向けの概要版も作成した。

○みどりのまちなみづくり事業(緑化助成)

より手軽なまちなかの緑化としてプランター、ハンギングバスケット、シンボルツリー緑化を助成対象に追加した。区報にて掲載を行ったところ反響が多数あり、20件の問い合わせ、5件の申請があった。

緑化実績:プランター・ハンギングバスケット28個、シンボルツリー1本、花壇・菜園9.6m、屋上等緑化1.7㎡



緑化助成(プランター)

2 みどりをより柔軟に使えるようにします

事業	内容	R7計画	R7実績
公園マスタープラン策定事業	(仮称)江東区公園マスタープランの策定	策定(R7、R8)	実施
マルシェ、イベント、プレーパーク等の普及	令和7年4月に開園した大島九丁目すくすく公園において、マルシェやプレーパークのイベントを実施し、公園を核とした新たな賑わいを創出していく。	推進	春・秋の2回実施
苗圃及び区民農園維持管理事業	区民が土と触れ合う農体験の場として、令和6年度に、砂町区民農園を新たに整備。地域コミュニティづくりにつながる取組も検討。	検討・実施	実施



公園マスタープラン策定事業
(イベントでのヒアリング)



公園でのイベント実施

○公園マスタープラン策定事業

公園の整備方針や管理運営方針を示した「(仮称)江東区公園マスタープラン」を策定することで、各公園が個性を発揮し、公園利用者が「楽しい」「訪れたい」と思うような魅力ある公園づくりを進めていく。

令和7年度は現状・課題の把握、区民アンケート・公園利用実態調査・関係団体ヒアリングの実施、計画の枠組みの整理・検討、目標等の検討を行った。策定委員会1回、幹事会2回開催。

○マルシェ、イベント、プレーパーク等の普及

「賑わい創出」をテーマに、春と秋の2回イベントを実施した。段ボールを使ったお絵かき・工作・木工・チョーク遊びなど、子どもが自由に遊びながら交流できるプレーパークをはじめ、キッチンカーが並ぶマルシェや、自由に組み合わせて遊べるモバイル遊具の導入など、多様なコンテンツを展開した。地域と連携し、イベントを通じて交流の場としての機能を提供した。

○苗圃及び区民農園維持管理事業

区民農園の令和7年度利用における応募状況は、辰巳区民農園が倍率3.4倍(前年度2.1倍)、城東区民農園が5.5倍(前年度5.2倍)、夢の島区民農園の個人区画が3.9倍(前年度3.2倍)、団体区画が1.0倍(前年度1.0倍)、砂町区民農園の個人区画が11.0倍、団体区画が2.7倍となっている。

令和7年度は、地域コミュニティづくりにつながる取組として、夢の島および砂町区民農園において、農園講習会や芋煮会などを実施し、利用者同士の交流を促進した。



農園講習会

3 みどりを安全と生命を支えるために充実させます

事業	内容	R7計画	R7実績
街路樹等維持管理事業	(仮称)江東区街路樹植栽ガイドラインの策定	策定(R7, R8)	策定中(R7)

○街路樹等維持管理事業

景観や歩行空間の快適性の観点から、街路樹について更新対応等も含めた維持管理手法の検討が課題となっていることから、街路樹に関する維持管理や更新の方向性を示した(仮称)江東区街路樹植栽ガイドラインの策定をおこなう。

令和7年度は、ガイドラインの策定に向けた委員会や部会を開催し、内容の確認や調整を諮った。また、江東区みどりの基本計画推進会議で報告を行い、学識経験者やみどり活動団体等の意見の反映を行った。



(仮称)街路樹植栽ガイドラインの策定

4 みどりをみんなで守り育て伝えます

事業	内容	R7計画	R7実績
CIG民間緑化推進事業(江東区みどり百景)	地域のシンボル等となるみどりの景色の情報発信とシテプロモーションへの活用	選定(深川地区・南部地区)	選定(深川地区・南部地区)



みどり百景(みどり金賞)

○CIG民間緑化推進事業(江東区みどり百景)

区内の良好なみどりの景色をフォトコンテストで選定し、マップ・モバイルスタンプラリーにて情報発信することで、みどりへの関心を高めるとともに、みどりの保全や地域コミュニティの活性化、地域ブランドの発掘によるシテプロモーションにつなげる。

令和7年度は、観光協会が実施する「魅力百様、江東区。Instagramフォトコンテスト」にて、「みどり部門」を設け、深川地区・南部地区において50作品を募集・選定した。選定箇所については令和8年度にスタンプラリー等のイベントで活用していく。また、引き続き城東・臨海地区においても50作品を同様にフォトコンテスト形式で選定していく。



みどり百景(みどり銀賞)

4 みどりをみんなで守り育て伝えます

事業	内容	R7計画	R7実績
みどりの基本計画進行管理事業(グリーンコミュニティ会議)	「江東区みどりの基本計画推進会議部会」に代わる多様な主体の協働の場として後期計画にて位置付け。課題に対する調査、検討、意見交換、試行的な取組や、推進会議との連携を行う。	4回	4回
ゼロカーボン行動変容事業(森林再生プロジェクト)	ゼロカーボンシティ江東区の実現に向けた意識啓発・行動変容や森林再生への取組を進めていくため、森林体験ツアーを試行的に実施	1回	1回
戦略的な情報発信(DX推進)	SNS等を活用したみどりに関する情報の戦略的な発信とみどりの見える化	推進	推進



グリーンコミュニティ会議
(出前授業)



森林体験ツアー

○みどりの基本計画進行管理事業(グリーンコミュニティ会議)

みどりに関係する多様な主体の協働の場。計画前期の「江東区みどりの基本計画推進会議部会」における活動を発展させ、区民・みどり活動団体・事業者・区等、様々な関係者が連携し、みどりのまちづくりを更に推進していく。令和7年度は、4回開催。参加者:23名 また、有志参加によるみどりに関する出前授業を2回実施した。

○ゼロカーボン行動変容事業(森林再生プロジェクト)

森林環境譲与税を新たに活用し、連携自治体の森林において植樹等、森林を再生することの体験を通して、森林の整備や保全及び木材利用推進に関する区民の意識醸成と行動変容につなげていくため、令和7年度より「森林再生プロジェクト」に取り組んでいる。

令和7年度は、森林体験ツアー(試行実施)を1回実施。参加者:17組34名

○戦略的な情報発信(DX推進)

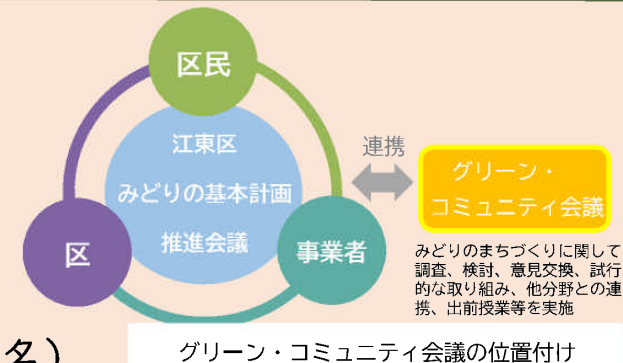
みどりのイベントに関するSNSでの情報発信ほか、区報でベランダ緑化や助成制度、コミュニティガーデン等、みどりに関する取組の紹介をおこなった。また、グリーンコミュニティ会議においては、情報発信等のより有効な手法として、「参加のはしご」の考え方の共有やその内容について検討した。江東区みどり百景はマップ化とスタンプラリーの実施を予定しており、新たな手法を用いたみどりの情報発信を行っていく。



区報での情報発信

○活動概要

- ・みどりに関係する多様な主体の協働の場
- ・計画前期の「江東区みどりの基本計画推進会議部会」における活動を発展させ、区民・みどり活動団体・事業者・区等、様々な関係者が連携し、みどりのまちづくりを更に推進していく。
- ・令和7年度は年4回実施 ワークショップ形式
- ・参加者23名（区民7名、みどり活動団体6名、事業者6名、行政関係職員4名）



○第1回 6月10日 テーマ:「みどりへの関心を高め、仲間を増やしていくためのアイデア」

前身となるみどりの基本計画推進会議部会のテーマ「みどりに関心を持ち、その仲間を増やし、活動する」を基本的な考えとして引き継ぎ、様々な関係者が各々の立場や視点から、みどりの活動を広げていくためのアイデア出しを実施。



第1回グリーン・コミュニティ会議の様子

○第2回 8月29日 テーマ:「区民がCIG活動を「知る・気づく」ためのアイデアを深めよう」

第1回で挙げられたアイデアを「参加のはしご」の各ステップに分類。

多様なみどりの活動・イベント・担い手の視覚化により、それぞれの連動性の少なさを確認。土台となる「知る・気づく」を充実させる手法について意見交換を行った。



○第3回 11月26日 テーマ:「“江東区らしい”みどりのポータルサイトを考えよう」

第2回会議でみどりに関する情報に出会えるという場の重要性についての意見が多かった。そのため第3回では他区の事例等を参照・勉強しながら、「江東区らしいポータルサイト」を題材に意見交換を実施した。



○第4回 2月10日 テーマ:「令和7年度の振り返りと令和8年度の取り組みについて」
第3回ではポータルサイトについて議論する中で「WEBサイト」にこだわらないポータルの必要性が挙げられた。今年度の活動を振り返るとともに、来年度の取組について意見交換を行い、アウトプットの方法やその前提となるインプット方法について検討した。



第4回グリーン・コミュニティ会議の様子

○出前授業(1月31日、3月10日)

・みどりについての情報発信の一環として、グリーン・コミュニティ会議メンバー(有志)で小学校で生きものを題材とした出前授業を実施

①第五砂町小学校 対象:ビオトープ委員会所属の5,6年生22名
テーマ:「どんな生きものがいるビオトープにしたいか」

②香取小学校 対象:3年生37名
テーマ:「ビオトープの生きもの観察」



出前授業の様子(第五砂町小学校)



出前授業の様子(香取小学校)

○令和7年度活動まとめ

令和7年度はグリーン・コミュニティ会議の取組方針の設定を主として活動。

・江東区内には既に多様なみどりの活動・イベント・担い手が存在している一方、情報発信力の小ささ、活動やイベント同士の連続性や連動性が低いといった課題を確認。

・グリーン・コミュニティ会議は多様な主体が集まる場として、人・情報・活動をつなぐ場

・取組方針「江東区にみどりの仲間を増やすために「参加のはしご」の3つのステップをつなぐ。」

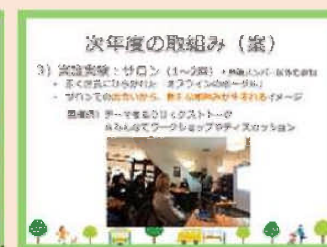


○令和8年度の取組予定

・取り組みの核となるグリーン・コミュニティ会議を継続して実施

・メンバー同士の活動を知るための勉強会、開かれた交流の場(ポータル)としてサロンの実施

・みどりのまちづくりについて情報発信を強化していくため、既存イベントへの出展やポータルサイトの充実についても引き続き検討



「(仮称) 江東区街路樹植栽ガイドライン(案)」について

第2回のみどりの基本計画推進会議にて、「(仮称) 江東区街路樹植栽ガイドライン(素案)」を確認いただき、各章における構成内容や追記すべき要素等の指摘内容の修正を行ってきた。今回、「(仮称) 江東区街路樹植栽ガイドライン(案)」を作成したため、専門的な知見からの意見を求める。

1 素案からの大きな追加及び変更点

1章 はじめに

- ・ 1-3 に街路樹の役割が発揮された場合の効果を追記
- ・ 1-4 の適用範囲に植栽の対象路線の図を追記

2章 街路樹の現状と課題

- ・ 2-1 に地域の特徴の図等を追記
- ・ 2-3 の課題に健全に見える樹木の危険性を追記
- ・ 2-3 の課題に特定外来種の侵入・定着を追記

3章 取組の方向性(目標)

- ・ 3-1 のあるべき姿の記載方法を変更
- ・ 3-2 の項のタイトル及び 2-3 課題に対する文言の修正

4章 街路樹の維持管理

- ・ 章内の内容説明用のポンチ絵を追記
- ・ 4-2 の維持管理内容に道路の損傷連絡・要望システムを追記
- ・ 4-2 の点検時に特定外来種発見時の撤去を追記
- ・ 4-3 に胴吹枝の説明とイメージ図を追記
- ・ 4-4 に病虫害と野鳥の説明を追記
- ・ 4-5 に伐採の対象樹木や伐採に関する説明を追記

5章 街路樹の整備

- ・ 章内の内容説明用のポンチ絵を追記
- ・ 5-1の内容を精査し、要点を絞った内容に変更
- ・ 5-2に景観計画との整合を追記
- ・ 5-2の更新樹種の選定方法を変更

6章 おわりに

- ・ 6-2の将来に向けての内容を充実

2 今後の予定

みどりの基本計画推進会議

(令和8年度第1回)

令和8年8月

最終(案)の報告

区HPで公表

1. 公園マスタープラン策定について

2026. 3. 26_第3回江東区みどりの基本計画推進会議

(1) 公園マスタープランの策定目的

江東区には、日本最古の都市公園の一つである深川公園をはじめ、自然豊かな親水公園等特色ある公園がある一方で、利用者のニーズや地域の実情に応えきれておらず、公園の管理や活用には課題がある。

課題解決や公園利用者のニーズの多様化に対応するためには、地域の公園がそれぞれ個性を発揮し、区民が「楽しい」「訪れたい」と感じられる**魅力ある公園づくりを進める必要がある**ことから、**公園の特色を活かした魅力的な公園整備方針**や**地域と協働した柔軟な管理運営方針**を示した「(仮称)江東区公園マスタープラン」を策定する。

(2) 公園に関する動向

■ 江東区の公園に関する特徴

- 一人当たりの公園面積は、23区の中で3番目に高い水準(10.65㎡/人：R7.4.1)
- 河川や運河に囲まれ、水辺を活かした親水公園等が多い
- 大規模な公園や歴史・文化を伝える公園に恵まれている
- 公園面積は増えているが、みどりに満足している区民の割合は低下**
- みどりに満足している理由は「身近に公園が整備されている」が最も多い

■ 国・都の公園に関する方向性

- 国) 新たな時代における都市公園の意義・役割として“個人と社会のWell-beingの向上に向け、地域の課題や公園の特性に応じ、ポテンシャルを更に発揮すること”を重要視(「都市公園の柔軟な管理運営のあり方に関する検討会提言(R4.10)」)
- 国) 地域の価値を高め続ける「使われ活きる公園」となるため、**都市公園の柔軟な利活用**を検討
- 都) 今後10年間に東京が目指す公園づくりの方向性を示すとともに、多様な主体と連携し、都立公園全体の**整備・管理運営の指針**となる「パークマネジメントマスタープラン」を改定(R6.3)
- 都) 100年先を見据えた新たな緑のプロジェクト「東京グリーンビズ」を始動(R5.4)

＜江東区みどりの基本計画(後期)における目標＞

最新の数値に更新

指標	平成30年度 基準値	令和7年度 現状値	令和11年度 目標値	指標	平成30年度 基準値	令和6年度 現状値	令和11年度 目標値
公園面積	438.1ha	578.7ha (令和6年度)	550ha	みどりに満足している区民の割合	74.4% (令和元年度)	72.7%	80%

(3) 本計画の位置づけ

～江東区みどりの基本計画における公園の考え方～

江東区みどりの基本計画は、都市緑地法第4条に規定される基本計画として、緑地の保全と緑化の推進に関する施策を計画的に推進するために、区が策定する計画である。令和2年度から令和11年度までを計画期間としており、令和6年度に中間年次を迎えたことから見直しを行い、江東区みどりの基本計画(後期)として改定を行った。

江東区みどりの基本計画(後期)では、基本方針の中で「公園・緑地の整備・管理の方針」を定めているが、基本的な考え方を示す程度となっている。また、後期の改定に当たっては、重点施策「みんなでつくる公園プロジェクト」において展開する主な事業の一つに「公園マスタープラン策定事業」を位置づけており、公園マスタープランを策定・運用していくことで**各公園の個性を発揮**させることとしている。

～今後の公園整備・管理運営に求められる視点～

本区は、特色ある公園に恵まれているとともに、公園面積も着実に増加しており、「身近に公園が整備されている」ことが、みどりに対する区民の満足度につながっている。

一方で、**低下している「みどりに満足している区民の割合」を向上**させるためには、公園の量だけではなく、地域の課題やニーズを踏まえ、公園が持つ機能や役割を整理・分担するとともに、**柔軟な利活用を進める**ことで、**各公園の個性を発揮**させることが求められる。

～公園利用者のニーズや課題～

- ボール遊び場や隣接学校校庭との連携利用
- インクルーシブ遊具や健康遊具
- プレーパークの導入
- ドッグラン
- スケートボード等のスポーツ施設
- 農体験の場
- 樹木の保全
- グリーンインフラ etc

(仮称) 江東区公園マスタープラン(本計画)

公園の魅力・価値を効率的・効果的に高めるため、公園の機能や役割を踏まえながら、公園整備・管理運営の方針を定める計画

1. 公園マスタープラン策定について

(4) 公園マスタープランの位置づけと対象

本計画は、「江東区長期計画」、「江東区都市計画マスタープラン」、「江東区みどりの基本計画」や他の分野別計画、国・東京都の諸計画との整合、連携を図りながら、江東区の公園整備・管理運営の方針を定める計画として位置づける。

なお、本計画においては、区立公園、区立児童遊園、遊び場等の計285園を対象とし、区内に立地する都立公園、海上公園、国営公園の計27園については、機能を参照する公園とする。

■ 上位計画

江東区基本構想、江東区長期計画、江東区都市計画マスタープラン、江東区みどりの基本計画

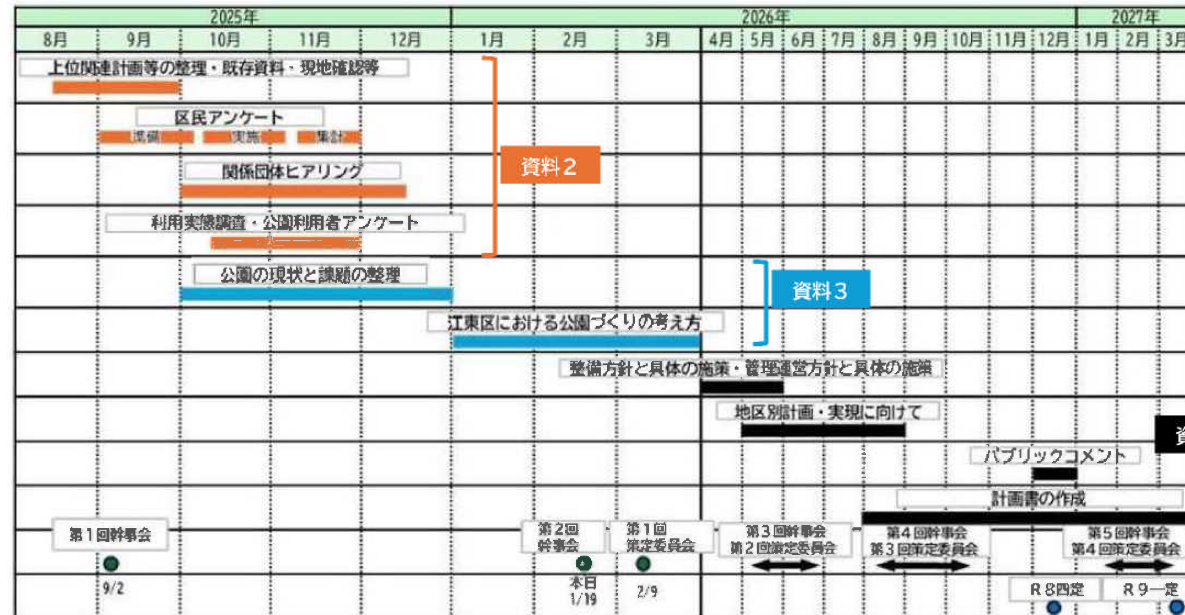
■ 関連計画

江東区環境基本計画、江東区公共施設等総合管理計画、江東区こども計画、江東区地域防災計画、江東区スポーツ推進計画 等

対象となる公園等 (合計 285園)	区立公園	区立児童遊園	遊び場等
	173園	99園	13園

機能を参照する公園 (合計 27園)	都立公園	海上公園	国営公園
	7園	19園	1園

(5) 策定のスケジュールと構成案



【マスタープランの構成(案)】

- 本マスタープランについて (背景や位置づけ等) → **資料1** ※本資料
- 江東区の公園 → **資料2**
- 公園の現状と課題
- 公園づくりの考え方 → **資料3**

以下、令和8年度検討

- 具体的取組み (整備の方策・管理運営の方策)
- 地区別方針 → **資料4**
- 実現に向けて (ロードマップ及び計画推進策)

※構成はあくまでも現時点での案であり、変更の可能性があります。

資料2 江東区の公園

1 公園を取り巻く社会動向 (1) 社会動向 (2) 公園に関する区上位・関連計画	2 公園の現状 (1) 公園の整備状況 (2) 公園の管理・運営状況 (関係団体ヒアリング) (3) まちと公園	3 区民や利用者のニーズ (1) 区民アンケート (2) 利用実態調査・公園利用者アンケート
---	---	--

資料3 公園の現状と課題・公園づくりの考え方

- 公園の現状と課題の整理
- 地区別公園、親水公園の特徴と課題
- マスタープランの体系イメージ
- 目指すべき公園のイメージ

資料4 今後のスケジュール

マスタープランの作成
住民意向の把握
幹事会/策定委員会

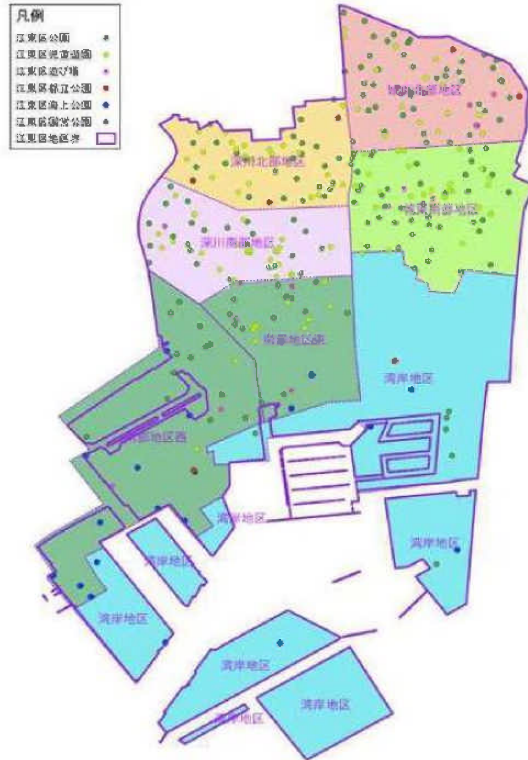
2. 公園の現状

(1) 公園の整備状況

区全体で見ると、**面積・面的な配置は充足しているが、地区ごとに整備面積や公園種類の偏り**が見られ、広域的な公園が住区基幹的な役割を、住区基幹の公園が都市基幹的な役割を担っている公園も見受けられる。また、**区内には様々な機能・特徴のある公園が整備されているが、その配置については偏り**が見られる。

1) 区内公園の概要

- 区内には173の区立公園、99の区立児童遊園、13の遊び場等が整備されているほか、7の都立公園、19の海上公園、1の国営公園が立地している。
- 区内には親水公園や海上公園等、まちの特徴である水辺を活かした公園が多く整備されている。
- 区立公園の多くは、面積の限られた住区基幹公園である。
- 地区別に公園の整備状況を見ると、近隣公園のない地区や都立公園が多く立地している地区等、地区によって整備状況が異なっている。



	区立公園※		児童遊園	遊び場等	都立公園	海上公園	国営公園	計
	住区基幹	都市基幹						
城東北部地区	47	0	15	3	2	0	0	67
城東南部地区	39	3	24	2	0	0	0	68
深川北部地区	26	0	23	0	3	0	0	52
深川南部地区	23	1	24	1	0	0	0	49
南部地区西	12	1	2	2	1	10	1	29
南部地区東	15	0	10	5	0	2	0	32
湾岸地区	5	1	1	0	1	7	0	15
計	173		99	13	7	19	1	312

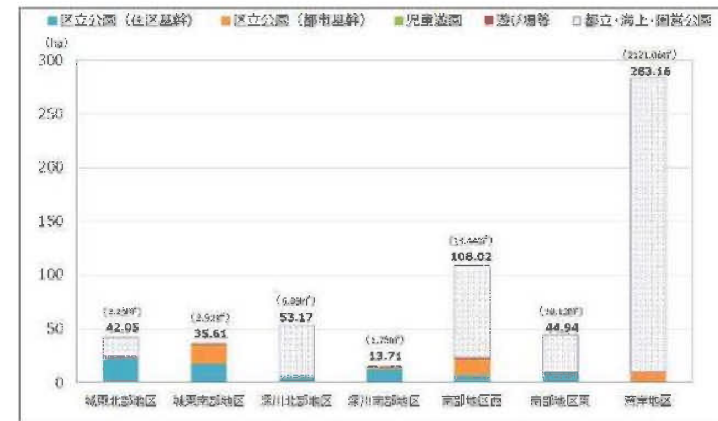
【地区別の公園整備状況】

※ここでは、街区公園、近隣公園、地区公園、緑道を、地域内の住民が日常的に利用する「住区基幹」とし、総合公園、運動公園、特殊公園を、区内全域の区民が利用する「都市基幹」として分類する。

2) 公園面積

- 江東区の公園面積は、578.7haであり、一人当たりの公園面積は10.65㎡/人と、23区の中で3番目に高い水準となっている。(R7. 4. 1時点) ※公園面積には、「あそび場等」は含まない。
- 一方で、大規模な公園が多い臨海部で面積が大きくなっている等、地区によって公園整備面積が異なっており、一人当たりの面積に差がみられる。また、地区内に整備されている公園の公園種別も、地区ごとで様々となっている。
- 区内312の公園の内訳は、600㎡以下の小規模な児童遊園と、2500㎡以下の街区公園や緑道等の区立公園が大半を占めている。一方、総合・運動・特殊公園等の区立公園や、都立・海上・国営公園は、数は少ないものの5ha程度の大規模な公園が多い。
- 区立の公園は中小規模のものが多いため、バリアフリートイレや女性専用トイレなどの整備に際して建蔽率の制限を受ける場合が多い。

※カッコ内は一人当たりの公園面積（人口出典：住民基本台帳 R7. 4. 1時点）



【地区別の都市公園整備面積と公園種別】



【公園面積と公園種別の内訳】

2. 公園の現状

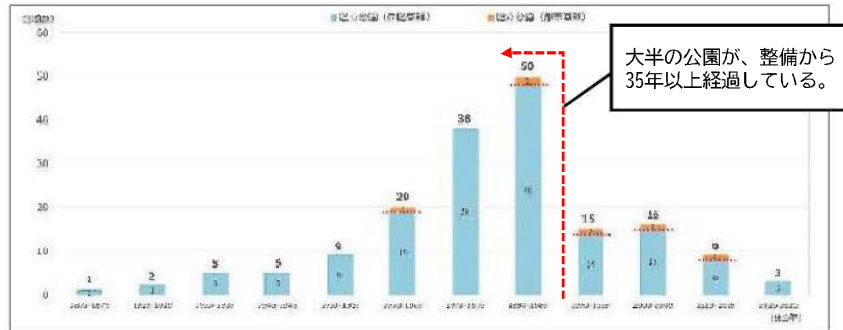
(2) 公園の管理・運営状況

区立公園の多くが整備後35年以上が経過し、施設や設備の老朽化が課題となっており、区民等から寄せられる意見や陳情としても、公園施設に関する意見や樹木や清掃等に関するものが多い。さらに、利用者のマナーに関する意見も多く、**同一の公園で相反するニーズが求められているケース**も見受けられる。また、管理体制においては、対象公園の増加や多様化するニーズに対応するために、業務委託の件数が多くなっている。

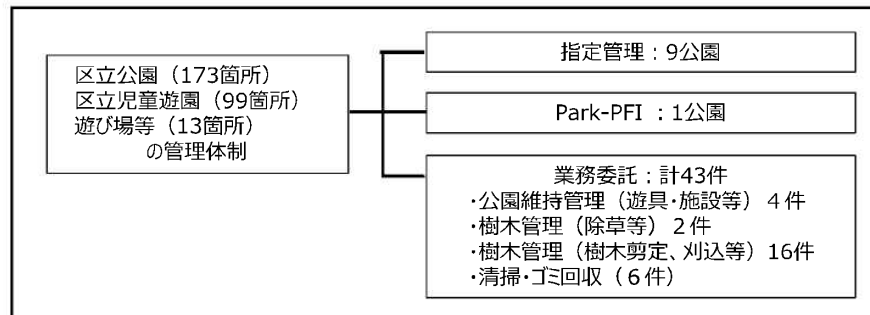
一部の区立公園では、指定管理者制度やPark-PFI事業等の民間活力の導入が進められているほか、**区立公園を活動場所としたNPO法人、ボランティア団体、地元企業、地域住民等の活動が多く行われており、公園の活用に対する積極的な意見も多い。**

1) 管理状況

- 区立公園の多くが、1970年～1980年代に整備され、**整備後35年以上が経過しており、補修・改修等を行っているものの、施設や設備の老朽化が進んでいる。**
- 区立公園の管理については、**一部公園で指定管理者制度が導入されており、さらに若洲公園では、Park-PFI事業が進められている。**その他の公園については、**業務委託による区での管理**となっており、対象公園の増加や多様化するニーズに対応するために、**業務委託の件数が多くなっている。**
- 区民等から寄せられる、区立公園への意見や陳情等の内訳を見ると、トイレや遊具等を含む**公園施設に関する意見**や、**樹木や清掃等に関する公園の管理**等、ボール利用やスケートボード、喫煙、騒音等、**利用者のマナーに関する意見**が多い。



【区立公園の整備年】



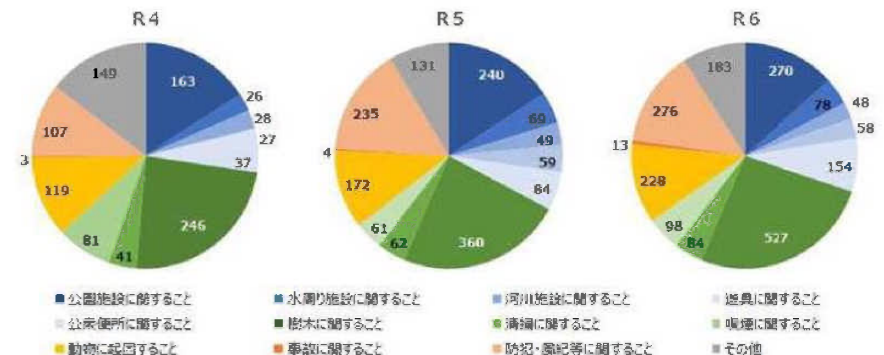
【対象公園の管理体制】

公園名		公園種別
竪川河川敷公園		地区
旧中川水辺公園他3施設	旧中川水辺公園	地区
	亀戸九丁目緑道公園	緑道
仙台堀川公園（一部）		総合
江東区豊洲ふ頭内公園（豊洲ぐるりパーク）	豊洲ぐるり公園	総合
	豊洲公園	近隣
	豊洲六丁目公園	近隣
	豊洲六丁目第二公園	街区
若洲公園		総合

【指定管理者制度を導入している区立公園】

	H29	H30	H31	R4	R5	R6	総計
城東北部地区	136	91	234	342	434	406	1643
城東南部地区	170	147	341	349	551	633	2191
深川北部地区	17	161	137	18	24	228	585
深川南部地区	21	179	174	23	41	305	743
南部地区東	67	55	91	93	139	105	550
南部地区西	132	180	107	95	177	121	812
湾岸地区	0	3	2	15	18	10	48
その他（対象公園外）	124	184	318	128	218	357	1329
総計	667	1000	1404	1063	1602	2165	7901

【年間陳情件数の推移】



【区立公園への意見・陳情等の内訳（過去3年）】

3. 区民や利用者のニーズ

(1) 区民アンケート

江東区の公園は、自然や癒し・リラックス、遊び、健康づくり等、**動的な活動と静的な活動の両面において利用され、評価**されている。一方、**施設・設備の清潔さや暑さ対策**が求められているほか、身近な公園に**ボール遊びや乳幼児の遊び・学びの環境**が求められている。

1) 調査概要

① 江東区 魅力ある公園づくりに向けたアンケート調査

i) 郵送アンケート

対象：江東区在住の18歳以上の方1,000人（無作為抽出）
 回答数：337件（回答率…33.7%）
 特徴：年代・居住地ともにバランスよく収集。性別はやや女性の回答が多い。

ii) WEB成人アンケート

対象：江東区在住・在勤・在学の18歳以上の方
 回答数：923件
 特徴：30～40代・女性の回答が多く、居住地区に偏りがある。

iii) WEB子どもアンケート

対象：江東区在住・在勤・在学の18歳未満の子ども
 回答数：2,208件
 特徴：小学3～6年生・中学生の回答が多く、居住地区に偏りがある。

② インクルーシブな公園づくりのためのアンケート調査

i) WEB外国人アンケート

対象：区内在住、在勤、在学の外国籍の方
 回答数：50件
 特徴：アンケートは、やさしい日本語・中国語・英語の3か国語に対応。30～40代の回答が多い。

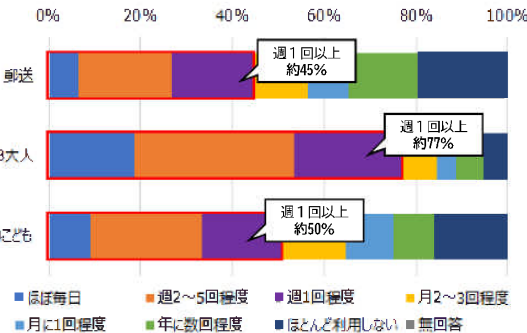
ii) WEB障害者等アンケート

対象：区内在住、在勤、在学の障害者と家族、介助者及び支援施設等職員
 回答数：22件
 特徴：ご自身に障害がある方とご家族・介助者の回答が多い。

2) 調査結果概要

■ 公園の利用状況

・ 郵送アンケートでは約45%、WEB成人アンケートでは約77%、WEB子どもアンケートでは約50%が、週に1回以上公園を利用している。



■ 利用目的

・ 公園を利用する目的として、大人は**四季や景色を楽しむ、こどもや孫と遊ぶ、休憩・休息、自然とふれあう、健康づくり**等が多く、こどもは**友達や家族と遊ぶ**が多い。
 ・ 利用頻度による目的の違いとして、**利用頻度の高い回答者は、遊びや健康づくり等、動的な活動・特定の目的や日常を楽しむ傾向が強く、利用頻度の低い回答者は休憩・休息、四季や景色を楽しむ、なんとなくの利用、イベント参加等、静的な活動・不特定の目的や非日常を楽しむ傾向が強い。**



【利用頻度による目的の違い】

■ 現状の区立公園への満足度

・ 現状の区立公園について、**植物の管理状況や自然環境の豊かさ**については、大人・こどもともに**満足度が高い**傾向にある。
 ・ 一方、**緑陰や日除け等の暑さ対策の充実度**や**トイレや園地等の施設の清潔さ**について**不満**と感じる人が多い傾向にある。

■ 公園の役割・機能

・ 現状の区立公園の役割について、「**安全・安心で快適な都市環境の形成**」の実感がやや**低い**傾向にある。
 ・ 公園や緑地が身心の健康に少なからず影響していると考えている人は、大人は75%以上、こどもも70%近くとなり、**日々の暮らしに公園が与える影響は大きいもの**と考えられる。
 ・ 大人は身近な公園に、**休憩・休息、子育て・遊びの場、リラックス・ストレス軽減**等の機能を求めており、大規模な公園については、**自然や生き物とのふれあい・保全、子育て・遊びの場、スポーツ・レクリエーション、イベント**等を求める声が多い。
 ・ こどもは公園の距離・規模に関係なく、**遊びの場、休憩・休息、使いやすいトイレ**等の機能を求める声が多い。

■ 新たな公園の使い方

・ 身近な公園では、**ボール遊び**ができる環境、**乳幼児が安心して自然に触れ合える場、飲食できるお店やキッチンカー**等を求める声が多くあがった。一方、大規模な公園では**キャンプ場やバーベキュー場**等を求める声が多くあがった。
 ・ 普段公園を利用しない回答者は、**飲食できるお店やキッチンカー**等を求める声が多く、**新たな公園の利用を呼び込む要素**として期待できる。

■ 外国人の傾向

・ 回答者の約72%が週に1回以上公園を利用しており、90%以上が、公園や緑地が身心の健康に少なからず影響していると考えている等、**日本人以上に公園が日常生活に与える影響は大きいもの**と考えられる。
 ・ 江東区の公園に利用のルールを知っている回答者は、英語・中国語での回答者が、やさしい日本語での回答者より少ない傾向にあり、**看板等のルールの周知についても多言語化を図る必要がある**ことが伺える。

■ 障害者等の傾向

・ 週に1回以上公園を利用している回答者は約45%、障害者が利用するうえで必要な設備、環境としては、**休憩スペース、バリアフリーの園路、バリアフリートイレ**等が多い。
 ・ インクルーシブ遊具のある区立公園を知っている回答者は約40%であったが、実際に行ったことがある回答者は0%と、**公園に行くまでのアクセスや周知の工夫等もあわせて考える必要がある**ことが伺える。

3. 区民や利用者のニーズ

(2) 利用実態調査・公園利用者アンケート

江東区の公園には、**多様なにぎわいの要素があり**、休日と平日、時間帯、年齢層等の違いもみられた。一方で、**にぎわいだけでなく、静かな空間としての機能も**求められている。また、**地域のコミュニティ醸成の場**としての役割を担っている公園も見受けられた。

1) 調査概要

【目的】公園の実際の利用状況を確認するとともに、利用者の生の声を把握することで、仮説検証を行い、公園の整備・管理運営の方向性検討に反映する。

【方法】目視調査により、利用者数や属性、利用エリア等を把握するとともに、利用者にインタビューを行い、利用目的や公園の魅力・課題等を把握する。
1公園あたり、晴天時に平日1回、休日1回の調査を実施。

【実施日】調査① 令和7年11月28日(金) / 令和7年11月30日(日)
調査② 令和7年12月2日(火) / 令和7年12月6日(土)
いずれも9時～18時台(5回/日 調査)

【対象】江東区立公園 全22公園



【対象公園位置図】

公園名	特徴	地区
①亀戸駅前公園 仮説1・2	・ 亀戸駅近くに立地し、商業施設や文化センターに隣接	城東北部
②大島三丁目公園 仮説3	・ 500㎡以下の狭小公園 ・ 中学校、高校、団地に隣接	
③竪川河川敷公園 仮説1・2	・ 「スポーツ公園」がテーマの親水公園 ・ 指定管理者制度による管理運営	
④大島九丁目すすく公園 仮説2	・ 地域ニーズを反映しながら整備した公園 ・ インクルーシブ遊具が設置	
⑤旧中川水辺公園 仮説1・2	・ 水辺のスポーツが楽しめる旧中川沿いの親水公園 ・ 指定管理者制度による管理運営	城東南部
⑥城東公園 仮説2	・ スポーツセンターに隣接する交通公園	
⑦南砂三丁目公園 仮説1・2	・ 南砂駅の近くに立地し、商業施設に隣接 ・ ボール遊びのできる広場やスポーツ施設のある公園	深川北部
⑧扇橋河川公園 仮説3	・ 水辺・扇橋閘門(小名木川)に隣接	
⑨高森公園 仮説2	・ 文化センターに隣接 ・ 水辺(小名木川)に隣接	
⑩清澄児童遊園 仮説3	・ 大規模公園(清澄公園)に隣接する500㎡以下の狭小公園	深川南部
⑪福富川公園 仮説2	・ 「木場の香り」がテーマの親水公園 ・ スポーツセンターに隣接	
⑫深川公園 仮説1・2	・ 門前仲町駅近くに立地し、歴史文化施設や商業施設に隣接	深川南部
⑬臨海公園 仮説2	・ 小学校に隣接する震災復興小公園	
⑭古石場川親水公園 仮説2	・ 「水辺の香り」がテーマの親水公園 ・ 児童館・幼稚園、文化センターに隣接	
⑮木場親水公園 仮説2	・ 「木場の風景」がテーマの親水公園	南部地区西
⑯豊洲ぐるり公園 仮説1・2	・ 市場前駅近くに立地し、商業施設が隣接 ・ 指定管理者制度による管理運営	
⑰豊洲三丁目公園 仮説2	・ ボール遊びのできる公園 ・ 商業施設に隣接	南部地区東
⑱潮見運動公園 仮説1・2	・ ボール遊びのできる広場やスポーツ施設のある公園	
⑲潮見さざなみ公園 仮説2	・ 福祉施設や保育園が隣接する水辺の公園	城東北部・城東南部・ 深川北部・深川南部
⑳横十間川親水公園 仮説1・2	・ 「区民の水辺」がテーマの親水公園	
㉑仙台堀川公園 仮説1・2	・ 「区民の森」がテーマの親水公園	
㉒荒川・砂町水辺公園 仮説1・2	・ 荒川沿いのスポーツ施設のある親水公園	城東南部・湾岸

【対象公園一覧】

【対象公園抽出の考え方】

以下の3つの仮説を踏まえながら、前提となる地区の特色、みどりの基本計画地区別組方針及び公園の持つ特定の機能・役割、立地によるポテンシャル等を考慮し、地区ごとに調査結果を今後の検討に反映できるように、各地区2～3公園(湾岸地区を除く)、加えて区の特色でもある8つの親水公園等を調査対象公園として抽出。

仮説1 江東区の公園のにぎわいは多様な姿がある

仮説2 江東区の公園は多様な機能で近隣住民のウェルビーイングに貢献している

仮説3 江東区の公園の中には隣接する公園同士で機能の再整理を行うべきものがある

3. 区民や利用者のニーズ

(2) 利用実態調査・公園利用者アンケート

2) 調査結果（仮説の検証）

■ 仮説1：江東区の公園のにぎわいは多様な姿がある

- ・地域内外からの多くの利用者でにぎわう、地域住民の利用でにぎわう、スポーツでにぎわう、乳幼児・小学生の遊びでにぎわう等、**多様なにぎわいの姿**が確認された。
- ・**同一の公園でも休日と平日、時間帯、年齢層等で異なるにぎわい**が見られる公園もあり、一つの公園で複数のにぎわいの要素をもつ公園も確認された。
- ・**曜日や時間帯によってにぎわいが生まれている公園が多く、平日・休日を問わず終日多くの人で賑わっている公園は少ない。**
- ・地域外の利用者が多い公園においても、地域住民利用は多く、江東区の公園は**来街者と地域利用が共存**していると考えられる。

【例】

- 地域内外問わず人が集まりにぎわう
⇒豊洲ぐるり公園 等
- 身近な公園として主に地元の人でにぎわう
⇒深川公園 等
- スポーツやサイクリング等運動利用でにぎわう
⇒南砂三丁目公園・豊洲三丁目公園・荒川・砂町水辺公園 等
- 遊具や広場で遊ぶ子どもたちでにぎわう
⇒南砂三丁目公園・高森公園・深川公園・臨海公園・仙台堀川公園・豊洲三丁目公園・潮見運動公園 等

江東区の公園における『にぎわい』の定義を整理する必要がある。

■ 仮説2：江東区の公園は多様な機能で近隣住民のウェルビーイングに貢献している

- ・公園の**立地・特徴によって利用目的が異なる**傾向にあり、さらに**曜日や時間帯によって利用者層や利用目的が異なる**ことから、江東区の公園は**区民のライフスタイルに沿って様々な役割を果たしている**と考えられる。
- ・なお、利用者の少ない公園を利用する意見として、「静かだから」、「混んでいないから」という理由であえて選択している利用者も一定数おり、**にぎわいだけでなく、静かな空間としての機能も求められている。**

【例】

- 歩きやすい道として親水公園が利用される
⇒福富川公園・古石場川親水公園・木場親水公園・横十間川親水公園・仙台堀川公園 等
- 子供たちの自転車練習の場所として人気がある
⇒城東公園
- リードを離して利用できるドッグランの需要がある
⇒旧中川水辺公園・豊洲ぐるり公園
- 釣りができる場所として需要がある
⇒豊洲ぐるり公園・潮見さざなみ公園・荒川・砂町水辺公園 等
- 学校や公共施設に隣接していることから子どもたちに人気がある
⇒深川公園・臨海公園・豊洲三丁目公園・潮見運動公園 等
- 照明設備の充実や立地上、夕方～夜間の利用も見られる
⇒亀戸駅前公園・豊洲三丁目公園・大島九丁目すすく公園 等
- 利用者が多くなく、静かで落ち着いていることが評価されている
⇒潮見さざなみ公園・大島三丁目公園・扇橋河川公園 等

■ 仮説3：江東区の公園の中には隣接する公園同士で機能の再整理を行うべきものがある

- ・隣接する公園との**機能や利用の違いがはっきりしている公園と機能の再整理を行うことで公園のポテンシャルがより活かされる公園**の両方が見受けられた。

【例】

- 隣接する公園との機能・機能の違いがはっきりしている公園
⇒清澄児童遊園
清澄庭園に隣接し、大通りに面していることから、大半が通行利用のみとなっているが、来街者の休憩場所、休日は地域のボランティア活動等コミュニティ醸成に寄与している。
- 機能の再整理を行うことでポテンシャルが活かされることが期待できる公園
⇒旧中川水辺公園・福富川公園
亀戸中央公園や木場公園に隣接しているが、利用の連続性は見られない。鳥が多く生息することから、野鳥観察の場としてのポテンシャルが考えられる。
⇒大島三丁目公園
区立公園同士が隣接している場合、狭小で目立った特徴のない公園は利用が少ない傾向にあるため、隣接する公園にはない機能や使い方を検討することで、差別化を図ることが可能と考えられる。

■ その他：親水公園の特徴

- ・水遊び機能として夏場のにぎわいが見受けられるが、信号がないため止まることなく歩ける、水辺の景観が良く親水公園を通る等、夏以外の時期でも散歩・通過利用としての需要が高い。
- ・旧中川水辺公園や福富川河川公園、横十間川親水公園と仙台堀川公園の交差点等では、鳥が数多く生息しており、生物多様性の視点からも重要な役割を担っていると考えられる。

■ 公園利用者の声

- ・家から近いため利用する
- ・子ども達が固いボールで遊んでいて危険 / ボールが使える公園が増えると良い
- ・動線を分けてほしい（歩行者と自転車、釣りとランニング 等）
- ・木陰や日除けがない
- ・利用者が多すぎなくて良い
- ・幼児向けの遊具や遊び場がほしい / 大型遊具がほしい / 健康遊具がほしい
- ・禁止事項が多い、もっと自由に利用できるべき
- ・自動販売機や立ち寄れるお店（カフェ等）がほしい
- ・タバコを吸っている人がいる
- ・照明がなく暗い
- ・駐輪場が充実すると良い
- ・和式トイレを洋式にしてほしい 等

4. 公園の現状と課題・公園づくりの考え方

(1) 公園の現状と課題の整理

求められる視点

「新たな時代における都市公園の意義・役割」

(都市公園の柔軟なあり方に関する検討会提言)

- ① 持続可能な都市を支えるグリーンインフラ
- ② 心豊かな生活を支えるサードプレイス
- ③ 人と人のリアルな交流、イノベーションを生み出す場
- ④ 社会課題解決に向けた活動実践の場
- ⑤ 機動的なまちづくりの核

⇒「使われ活きる公園」

「上位・関連計画における公園の位置づけ」

- 地域間のバランスに配慮した適正配置、適切な整備
- 地域の特性や区民のニーズを反映
- 地区ごとの公園を活かした方針
- 民間活力の導入
- CITY IN THE GREENの実現に向けた4つの公園・緑地の整備・管理方針
- 関連分野における公園利活用への推進に向けた、機能・役割の向上・拡充

「利用者ニーズ・利用実態」

- ボール遊び、乳幼児の遊び・学びの場としての利用、飲食機能・イベントなどの要望、インクルーシブな公園への期待が高いが、満たせている区立公園はごく一部に限られている。
- 利用者からは、にぎわいだけでなく、静かな空間としての機能も求められている。

公園の現状と特徴

「まちと公園」

- 連携：活用が期待できる地理的特徴や歴史文化資源との親和性が高い公園、公共交通機関に隣接するアクセス性の良い公園、文化センター等の公共施設に隣接する公園等、まちづくりとあわせた、地域や立地の特徴を考慮すべき公園が複数存在する。

「整備状況」

- 区内には親水公園や海上公園など、まちの特徴である水辺を活かした公園が多く整備されている。
- 区内には大規模な都立公園や海上公園が整備されており、面積・面的な配置の視点では充足している。
- 地区ごとに整備面積や公園種別の偏りが見られ、本来の公園種別とは異なる役割を担っている公園が見受けられる。
- 区立公園の大半は面積の限られた住区基幹公園であり、一つの公園が担える役割には限りがある。
- 区内には様々な機能や特徴のある公園が整備されているが、その配置については偏りがある。

「管理・運営状況」

- 区立公園を活動場所とした、NPO法人やボランティア団体、地元企業、地域住民などの活動が多く行われており、公園の活用に対する積極的な意見も多い。
- 一部の区立公園で指定管理者制度やPark-PFI事業などの民間活力の導入が進められているが、ほとんどの区立公園が業務委託による管理となっており、対象公園の増加や多様化するニーズに対応するために、業務委託の件数が多くなっている。
- 区立公園の多くが、整備後35年以上が経過しており、補修・改修等行っているものの、施設や設備の老朽化が進んでおり、区民などから寄せられる意見や陳情も多い。
- 近年の気候変動によって植栽等の生育環境にも変化がでており、維持管理の手間が増加傾向にある。
- 区民などから寄せられる意見や陳情は、ボール利用やスケートボード、喫煙、騒音など、利用者のマナーに関する意見が多く、同一の公園で相反するニーズが求められているケースも見受けられる。

「利用者ニーズ・利用実態」

- 区内の公園は、遊び、健康づくりから、自然や癒し・リラックスまで、動的な活動と静的な活動の両面において利用され、評価されている。
- 江東区の公園には多様な賑わいの要素があり、同一の公園でも休日と平日、時間帯、年齢層などで異なる賑わいもみられる。
- 地域のコミュニティ醸成の場としての役割をになっている公園もみられる。
- 隣接公園同士の機能の重複や個性の少なさによって利用・活用しきれない公園も見受けられる。

目指すべき公園のイメージ

公園

持続可能な都市を支えるグリーンインフラ

誰もが利用できる身近な公共空間

公園のポテンシャルを最大限に発揮させ、江東区における多様な課題に対して多面的な対応を可能とする

『まちとつながり（公園中心のまちづくり）

使われ活きる公園へ』

『地域の公園がそれぞれ個性を發揮し、「楽しい」「訪れたい」と感じられる魅力ある公園へ』

「使い方」、「活かし方」、「行きたくなる魅力」は一樣ではない。

「動的な活動」

子どもと遊ぶ、ボール遊び、イベント・行事への参加 など

「静的な活動」

休憩・休息、移動、なんとなく など

小規模な公園でのすみわけや組み合わせには限界がある。

そこで、地域の特性やニーズを踏まえ、一定範囲の公園を一つの塊「公園群」として「使い方」、「活かし方」、「行きたくなる魅力」を整理する。

整理に当たっては、アンケート調査の属性別分析や地域別公園利用者ニーズ調査（令和8年度実施）を踏まえることとする。

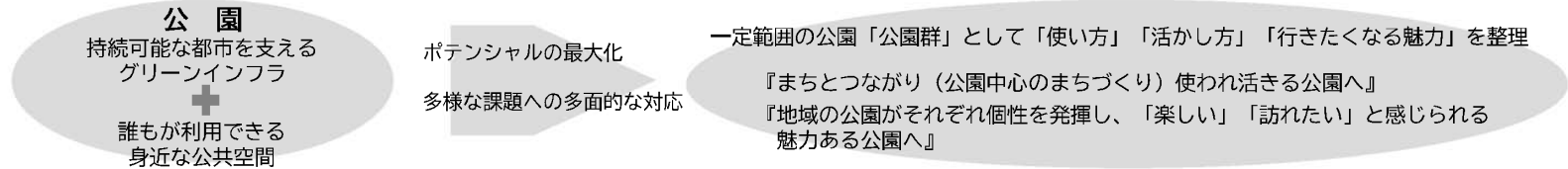
課題

- 公園の魅力向上とまちへの波及
- 機能分担や利用ルールづくりによるニーズへの対応
- グリーンインフラとしての公園機能の強化
- 多様な主体との協働による持続可能な公園づくり

4. 公園の現状と課題・公園づくりの考え方

(2) マスタープランの体系イメージ

<目指すべき公園のイメージ>



<課題>

- 公園の魅力向上とまちへの波及
- 機能分担や利用ルールづくりによるニーズへの対応
- グリーンインフラとしての公園機能の強化
- 多様な主体との協働による持続可能な公園づくり

<基本方針>

※江東区みどりの基本計画に基づく

- ①水彩都市・江東の魅力づくりに活かす公園・緑地をつくります
- ②より柔軟に使えるような公園・緑地をつくります
- ③安全と生命を支える公園・緑地をつくります
- ④みんなで守り育て伝える公園・緑地をつくります

<施策>

※ハード・ソフト両面から展開

今後の公園タイプ(案)

- ① にぎわいタイプ: 民間との連携も積極的に導入し魅力あるサービスの提供により区内外から多くの利用者を集める
- ② 地域の顔タイプ: 多様な機能で様々な利用を受け止め地域の交流の舞台となる
- ③ 機能特化タイプ: 単機能だが複数の公園群で地域の暮らしの質を高める

<p>施策のイメージ（他自治体事例）</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 整備の方策 <ul style="list-style-type: none"> 地域の歴史をいかした特色ある整備（千代田区） 区を代表する公園は、区を訪れる人の目的地となるような多機能空間を整備（渋谷区） 区の地域性を発揮する、ここにしかない景観や文化、アクティビティが体験できる空間を整備（渋谷区） 区内の企業などと連携して、先端技術を活用したエンタテインメント空間を整備（渋谷区） 季節の花やみどり、歴史・文化資源、景観などの地域資源と公園をつなぎ、回遊して楽しめる公園づくり（北区） ■ 管理運営の方策 <ul style="list-style-type: none"> 整備・運営への民間活力の導入を検討 民間主導による公園の性格を持ったオープンスペースの創出・活用を支援（港区） <p>関連の深い公園タイプ ① にぎわいタイプ ② 地域の顔タイプ</p>	<p>施策のイメージ（他自治体事例）</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 整備の方策 <ul style="list-style-type: none"> すべての人が利用できるインクルーシブな公園の整備（墨田区） ボール遊び、スケボーなどができる場所を拡充（千代田区） 昼・夜など時間に応じて用途を分け、多様な世代が思い思いに楽しめる空間づくり（千代田区） 多言語対応の案内板を設置し、誰でもわかる公園利用ルールの周知（北区） 公園を地域コミュニティの拠点とするため、コミュニティカフェを整備するなど、地域住民の方々のたまり場づくり（渋谷区） ■ 管理運営の方策 <ul style="list-style-type: none"> ボール遊びや花火利用など新たな公園ルールの運用（杉並区） 地区ごとに指定管理者制度を導入し、包括的な管理体制に再編（北区） より身近な公園活用のために、公園占有電子化システムの導入（江戸川区） <p>関連の深い公園タイプ ② 地域の顔タイプ ③ 機能特化タイプ</p>	<p>施策のイメージ（他自治体事例）</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 整備の方策 <ul style="list-style-type: none"> グリーンインフラなど、自然環境が持つ機能を活用した公園づくり（千代田区） 自然の豊かさにふれることができ、ピオトープの形成など生物多様性に配慮（千代田区） 公園内や周辺にドライ型ミストなどを設置し、クールスポットを創出（千代田区） 一時集合場所となっている公園に防災機能を有する設備を設置（墨田区） 雨水の流出抑制に配慮した地下浸透施設などの整備（北区） ■ 管理運営の方策 <ul style="list-style-type: none"> 植物の維持管理に気軽に参加できる制度づくりを行い、地域の方々がみどりに関わる活動ができる場を提供（渋谷区） 子どもたちが植物や生物に触れて自然のメカニズムなどを学ぶ機会になるようなプログラムを提供（渋谷区） <p>関連の深い公園タイプ ① にぎわいタイプ ② 地域の顔タイプ ③ 機能特化タイプ</p>	<p>施策のイメージ（他自治体事例）</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 整備の方策 <ul style="list-style-type: none"> 子どもや保護者をはじめとした地域の意見を取り入れ、子育て・コミュニティの核となる公園づくり（千代田区） 公園に隣接する施設や道路との一体的な再整備（千代田区） ■ 管理運営の方策 <ul style="list-style-type: none"> 地域活動への参画しやすい仕組みづくり（千代田区） 公園に隣接する施設と連携したイベントの推進（千代田区） 公園整備段階からの協働の推進（港区） 公園の魅力を発信する「公園ガイドブック」などの作成による情報発信（北区） 区民が気軽公園の運営や維持管理に参加できる「公園管理サポーター」制度の導入検討（北区） <p>関連の深い公園タイプ ① にぎわいタイプ ② 地域の顔タイプ ③ 機能特化タイプ</p>
--	--	---	--

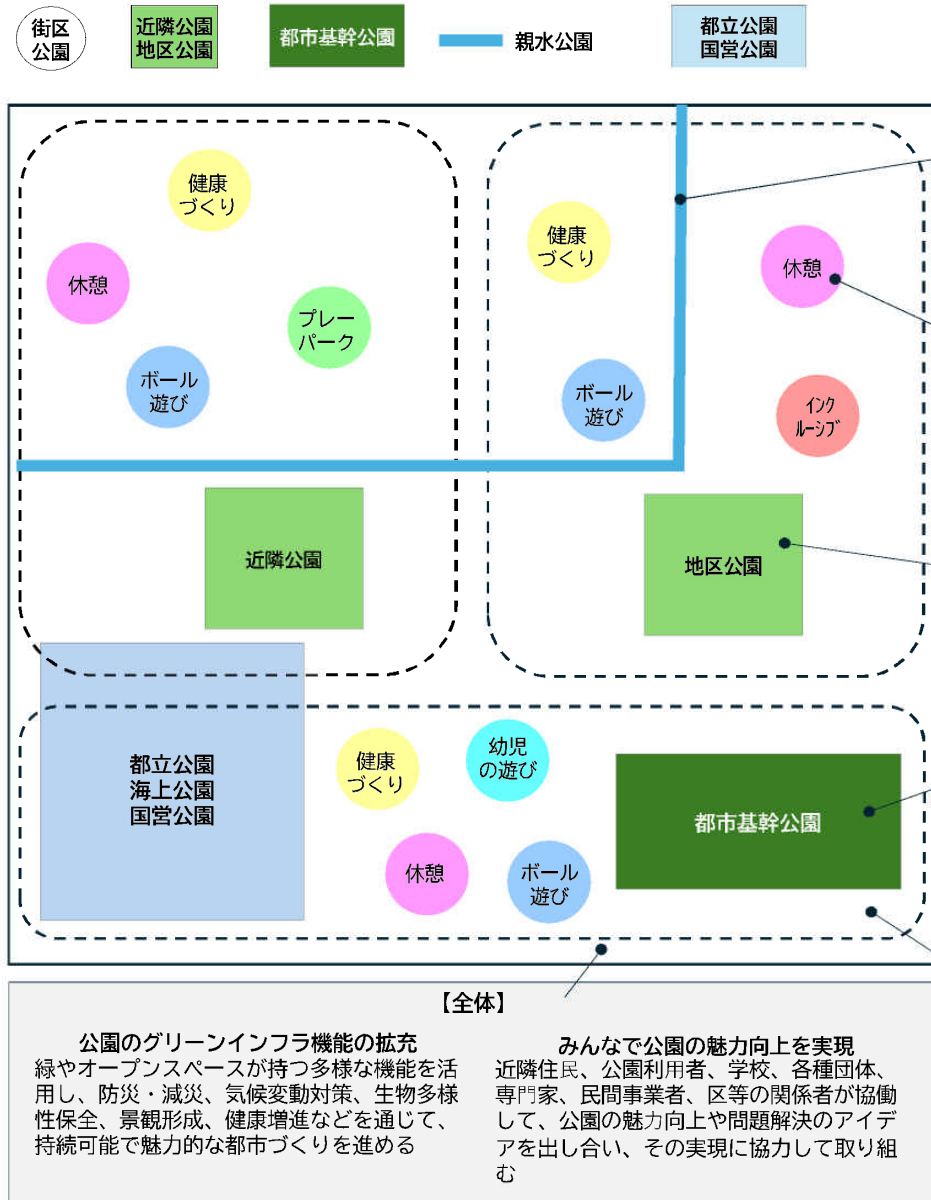
<地区別方針>

⇒ 地域の特徴や課題、利用者ニーズを踏まえて地区ごとに施策を展開

4. 公園の現状と課題・公園づくりの考え方

(3) 目指すべき公園のイメージ

<将来像イメージ>



「公園群」として「使い方」「活かし方」「行きたくなる魅力」を整理

- 【公園別】**
 特徴的な公園づくりで魅力向上
 親水空間、歴史資源、季節の花や特徴的な景観など、区内でも有名な特徴のある公園は資源性を活かし魅力の維持・向上を図る
 ① にぎわいタイプ ② 地域の顔タイプ
- 【公園別】**
街区公園の機能特化
 街区公園などは無理に多くの機能を持たせず機能特化型の改修によって地域内での機能分担を図る
 ③ 機能特化タイプ
- 【公園別】**
近隣公園・地区公園の多機能化
 敷地の大きさを活かして多機能化を進めるとともに、地域内の多様な利用を受け止める
 ② 地域の顔タイプ
- 【公園別】**
都市基幹公園の広域利用
 総合公園などの公園は、都立公園・海上公園・国営公園との機能分担に留意しながら区全域の広域的な利用拠点として都市の魅力向上や防災に資する機能を高める
 ① にぎわいタイプ
- 【地域】**
地域毎に公園機能を充実
 地域によって公園の機能に偏りがなく、広い公園への機能集約化や狭い公園の機能分担によって地域毎に多機能化を図る

柔軟な公園の活用イメージ

庁内連携による横断型のハード・ソフト両面での施策を展開することで、社会課題や区民ニーズに応える、柔軟な公園の活用を実現。

【活用イメージの例】

・ボール遊び

- ハード ソフト
- ・防球ネット整備
 - ・運動公園の平日開放
 - ・近隣学校との連携

- ・利用ルール、運用の見直し
- ・プレーリーダー等の活用

・プレーパーク

- ハード ソフト
- ・常設型の整備
 - ・移動型の運用
 - ・プレーリーダーの育成

・乳幼児の遊び・学びの場

- ハード ソフト
- ・幼児向け広場の整備
 - ・親子で過ごせる居場所づくり
 - ・イベントの開催

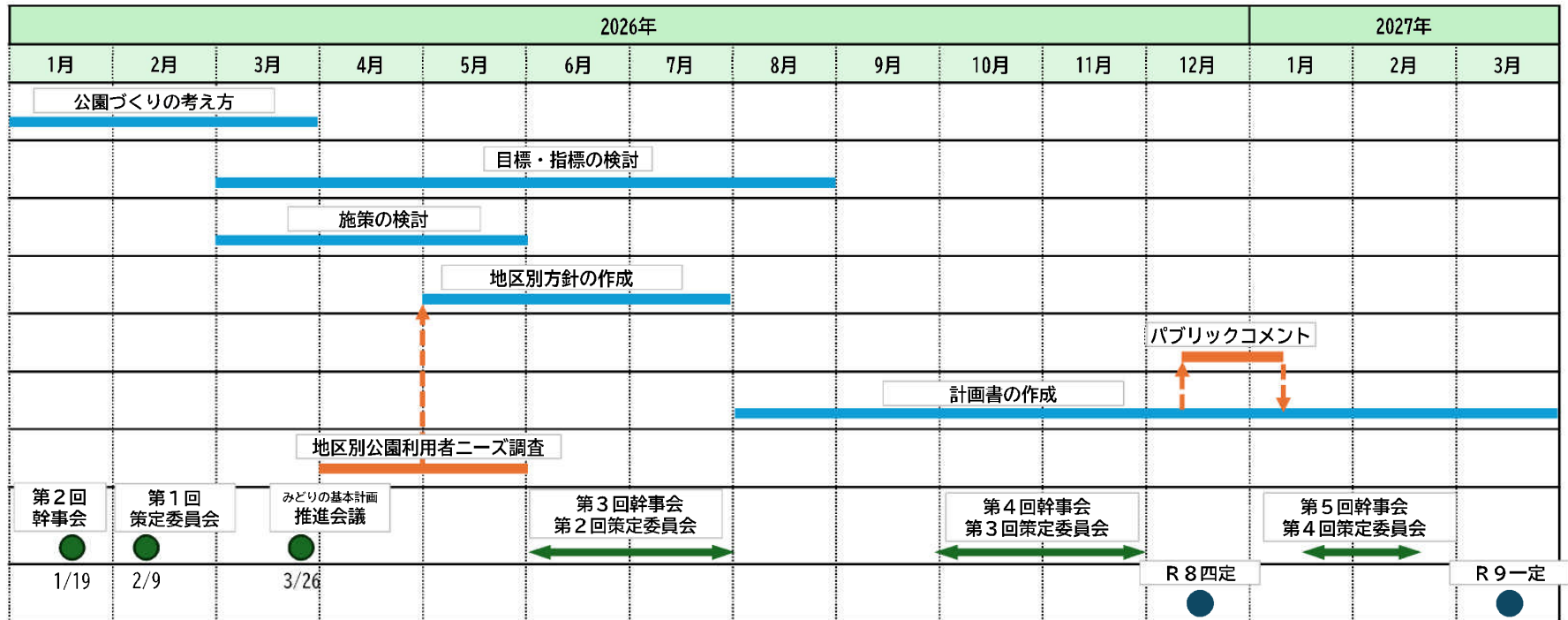
・防災・減災

- ハード ソフト
- ・防災施設の整備
 - ・レインガーデン整備
 - ・サイン設置による普及啓発
 - ・防災訓練や防災イベントの開催

※活用イメージはあくまでも現時点の案であり、今後、関係部署や関係団体との連携・調整等により具体を検討。

5. 今後のスケジュール

■ (仮称) 江東区公園マスタープラン策定 令和8年度のスケジュール



マスタープランの作成

- 公園づくりの考え方
- 目標・指標の検討
公園づくりの考え方から目標の検討を進めるとともに、目標達成に向けた施策の進捗管理や成果の評価・点検を適切に実施するために、指標設定の手法を検討する。
【キーワード(案)】
魅力、利活用、安全・安心、協働・継承
- 施策の検討
公園づくりの考え方から、それぞれ整備・管理運営のハード・ソフト両面で施策の展開を検討する。
- 地区別方針の作成
地域の特徴や課題、利用者ニーズを踏まえて地区ごとに施策の展開を検討する。地域別で実施するニーズ調査の結果も反映する。

住民意向把握

- 地区別公園利用者ニーズ調査
⇒令和8年4月～5月実施予定
地域ごとの実情やニーズに即したプランの策定につなげていくことを目的に、7地区ごとに利用者ニーズ調査を実施予定。
各地区1回の開催とし、開催場所は区立公園、区立児童遊園、遊び場等、文化センター等屋内施設等を想定。
形式はオープンハウス形式を予定し、既存予定のイベントとの合同開催や、ミニイベント等の実施などにより、より多くの方の意見を聞くことができるように工夫を図る。
- パブリックコメント
⇒令和8年12月～令和9年1月実施予定

幹事会 / 策定委員会

- 第1回策定委員会
⇒令和8年2月9日
 - 第3回幹事会
第2回策定委員会
⇒令和8年6～7月予定
 - 第4回幹事会
第3回策定委員会
⇒令和8年10～11月予定
 - 第5回幹事会
第4回策定委員会
⇒令和9年1～2月予定
- みどりの基本計画推進会議(本日)
- みどりの基本計画推進会議(想定)

○改定の背景

江東区みどりの基本計画では、地域のランドマークとなる歴史ある樹木や樹林地を保護樹木、保護樹林に指定し、特色あるみどりの景観を保全するとしている。

現在のみどりの条例に基づく保護樹木制度については、昭和50年に制定されてから改定されていない。制定から約50年が経過し、近年の樹木の維持管理に係る労力や費用の増大に係る状況等を反映できていないことや、生物多様性地域戦略の策定により地域のみどりの重要性が再認識されたことに伴い、将来に渡って特色あるみどりを維持していくため、制度の改定を検討している。

○保護樹木・保護樹林制度の概要

・指定基準

特に自然環境の保護並びに美観及び風致を維持するため必要があると認められるもののうち

①保護樹木：高さが12メートル以上かつまたは地表から1.5メートルの高さにおける幹の周囲が1.2メートル以上であり、健全であること。

②保護樹林：その樹木の存する土地の面積が500平方メートル以上あり、健全であること。

・助成内容

区分	基準	助成額
樹木	1本につき	年額 5,000円
	1所有者2本以上の場合、1本増すごとに	年額 3,000円
樹林	1,000平方メートルまで	年額 2万円
	1,000平方メートルを超え、100平方メートル増すごとに	年額 500円

・指定状況

保護樹木：151本（所有者29人）助成総額：511,000円

保護樹林：4,452㎡（所有者2人）助成総額：53,000円

主な指定樹木・樹林：寺社仏閣や団地内の大径木など



保護樹木（宇迦八幡宮）



保護樹木銘板

○他区の同様の制度の状況

指定条件

- ・指定基準として、樹木が所有者の敷地内に収まっていることが条件（港区、文京区など）
- ・指定基準として、樹木の活力度が一定以上であることが条件（江戸川区）
- ・生態系に被害を及ぼす樹種ではないこと（港区）
- ・落ち葉等の適切な維持管理がなされていること（港区、大田区、練馬区など）

助成内容

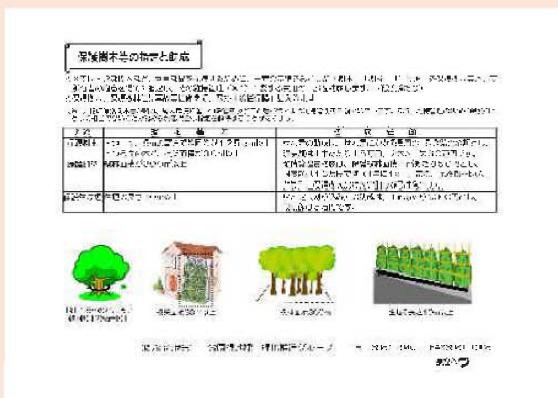
- ・定額補助（1本あたり7,500円（港区）、1本あたり10,000円（台東区）など）
- ・保護樹木の剪定に要した経費の一部を助成（最大30万/本（文京区）、2万/本（墨田区）、10万/本/3年（大田区）など）
- ・樹木医診断に要した経費の一部を助成（2万（墨田区））、5万（渋谷区）など）
- ・施肥・病害虫防除にかかる費用の一部助成（2万（北区））
- ・落ち葉等を事業系ごみとして処分する際の費用の一部を助成（4万円（荒川区））
- ・落ち葉回収（練馬区、足立区など）



保護樹木（志演神社）



保護樹木樹木調査



豊島区HPより（保護樹木等の指定と助成）



中野区HPより（保護指定の手引き）



文京区HPより（保護樹木等所有者の皆様へ）

令和7年度 第2回 江東区みどりの基本計画推進会議についての

ご意見とその回答について

日時：令和7年11月7日（金）14：00～16：00

場所：江東区文化センター4階 第2、3会議室

◆議題1 令和7年度新規事業等の取組状況について

主なご意見	回答
<p>新規事業としての公園の整備事業やナチュラルスティックガーデンへの取組などその地域の魅力が向上するなど評価できる。但し土木部 CIG 推進係だけではなく土木部河川公園課が進める(仮称)江東区公園マスタープランなどの連携などが、残念ながら見えないので土木部全体で共有されたほうが良いのではと思いました。</p>	<p>(仮称)江東区公園マスタープランは現在策定を行っている最中で、各課で連携を図り充実した内容となるよう計画策定を進めてまいります。</p>
<p>住民参加の取り組みが広がっている事が感じられ、広報も成功しているからと思った。</p> <p>シティプロモーションにつながる具体例として、江東区観光推進プランとの連携し、緑化を推進するという事もあり得るのではないかと考える。そうした記述も入れたらどうだろうかと思う</p>	<p>シティプロモーションにおけるみどりの活用については、観光・緑化両面において良い影響があると考えております。今後連携について検討してまいります。なお、来年度は江東区みどり百景を活用した、スタンプラリーの実施等、シティプロモーションにつながる事業の実施を予定しております。</p>
<p>・江東区みどり百景について、観光協会とのコラボとのことで、分野を横断した素晴らしい試みに思いました。投稿写真については、オンラインでの発信に加えて、リアルの場でも発信いただくと、子供や高齢者などにもより知っていただける機会が増えると思いました。</p> <p>・グリーンコミュニティ会議について、行政・市民・企業などが集まるプラットフォームとして先駆的な取り組みとします。ぜひ、活動を見える化に力を入れていけると良いと思います。例えば、HP でのグリーンコミュニティ会議の枠組みや位置付けをアップしていただいたり、活動成果をアーカイブして発信できると区民などにもより知っていただくと考えています。また、シティプロモーションとして、外部表彰などにも積極的に挑戦していかれてはどうかと思いました。</p>	<p>江東区みどり百景は、マップ化やスタンプラリーの実施を予定しており、オンライン以外の場での活用についても取り組んでいく予定です。</p> <p>グリーン・コミュニティ会議の成果等の公開については、みどりの取組みの輪を広げていくことにつながるものと考えております。一年の活動内容をまとめると同時に HP 等への掲載についても検討してまいります。</p>

主なご意見	回答
<p>当日も発言させて頂きましたが、2年前に企画された原っぱ事業計画は、その後、暮らしの中で良いなと感じる場面を何度か見かけています。今日も仕事の途中で深川公園を通った際に、幼稚園帰りの子供達が原っぱスペースにレジャーシートを敷いて、おまごをしていました。地面が砂地からみどりに変化しただけで、場の使われ方がこんなに変わるのかと、驚きでした。世界的に見ても、コンクリート地面を土に還す事例がいくつかあります。例えばオランダでは道端のタイルを剥がし、緑を植える、街の“呼吸”を取り戻す活動が行われていたり、 https://ideasforgood.jp/2025/06/16/tegelwippen/ 気候変動による集中豪雨や洪水からの被害を解決するための「スポンジシティ」という考えも広まっているようです。 https://elemunist.com/article/4260 区内のコンクリートエリアも可能な場所は原っぱへ変わっていったら、気候変動対策&人々が自由に過ごせる場となる可能性を持っているように思います。現在、深川公園の原っぱは芝生？の整備中で一部囲いで覆われていますが、小まめな手入れが必要な芝ではなく、木場公園の広場のように、（素人意見ですが）雑草原っぱでもいいのかもしれない。雑草伸び放題も子供達は楽しく遊んでいます笑。今後も期待のできるプロジェクトだと思いました。ありがとうございました！</p>	<p>原っぱ整備については、いただいたご意見のように、公園の多様な利用方法に貢献することができました。一方で踏圧等の利用圧とのバランスなどの課題も見えてきたところです。地域のニーズや現在策定中の公園マスタープランに基づき今後の整備や活用方法について検討をまいります。</p>

◆自由記載（補足など）

主なご意見	回答
<p>江東区は運河が多い区であり、私の住むところはは全て、河に囲まれており、みどりを増やす取り組みとしては必要不可欠なエリアになります。前記したように運河の管理は河川課でありそこに踏み込めなかったのかと無意味に考えてしまいます。 枝川も「枝川駅まちづくり協議会」を発足していますので運河ルネサンスに合わせ護岸利用も協議会としては考えています。現状の汐見運河沿いの護岸も花壇らしきものがあるが、低木が2本あるだけといった始末です。緑被率も大変低い地区であり公園、街路樹を含めた陸地とマンションのベランダ緑化と護岸の花壇の再生を行い潤いある散歩が楽しくなるようなまちになるためにも CIG 推進係も護岸にもかかわって欲しいと思います。</p>	<p>みどりの基本計画においても河川や運河などの緑化を推進し、水辺と一体となつたうるおいのある都市空間の創出を目指しております。運河の散歩道整備時に緑化を実施する一方で、環境条件の厳しさ等から生育状況については課題があると認識しております。 植栽樹種の工夫などについて今後所管部署と連携を図ってまいります。</p>

令和7年度みどりに関する取組

参考 2

担当部	担当課	取組名	取組主体	関係団体	内容（取組の詳細、日程、場所や補足など）	実績
地域振興部	文化観光課	夜の水彩カフェテラス	夜の水彩カフェテラス実行委員会	区（文化観光課）	旧中川川の駅周辺のライトアップ・ナイトクルーズ・ワークショップ・フードサービス。実施団体に事業費補助。	実施
地域振興部	文化観光課	隅田川マルシェ	隅田川マルシェ実行委員会	区（文化観光課）	越中島公園、隅田川テラスで実施。マルシェクルーズや梟板カー、mizube bar、深川めしをはじめグルメ、手作りアクセサリーや雑貨、ビールやクラフトドレッシング、フルーツサンドの販売。実施団体に事業費補助。	実施
地域振興部	文化観光課	お江戸深川さくらまつり	お江戸深川さくらまつり実行委員会	区（文化観光課）、江東区観光協会	実施団体に事業費補助。例年3月に大横川桜のライトアップ、石島橋での出店・パフォーマンス、深川公園でウッドフェスを実施。	実施
地域振興部	文化観光課	湾岸まつり	江東区観光協会	区（文化観光課）	区内の地場産菜と食・文化の発信を目指し、ステージパフォーマンスや飲食・物販・企業PRブースを設ける。 実施時期：11月8日（土）、9日（日） 実施場所：豊洲公園	実施
地域振興部	文化観光課	湾岸スペシャルクルーズ	江東区観光協会	東京都観光汽船	江東区観光協会主催の湾岸クルーズを実施。 実施期間：11月8日（土）、9日（日） 実施場所：豊洲水上バス乗り場発着	実施
地域振興部	文化観光課	「フジクラ千年の森」お話と見学	（公財）江東区文化コミュニティ財団 江東区古石場文化センター	株式会社フジクラ	「フジクラ千年の森」のビオガーデンでいきものを観察しSDGs（エス・ディー・ジーズ）について学ぶイベント。 古石場こども夏まつりで実施。7月6日（日）実施	実施 7月6日（日） 参加者18人
地域振興部	文化観光課	ゼロカーボンシティ江東区関連事業 身近な資源でたい肥づくり	（公財）江東区文化コミュニティ財団 江東区砂町文化センター	みどり環境ネットワーク！、 生物多様性チーム江東	・2023（R5）年度からの継続事業 ・江東区みどりの基本計画施策一覧 みどりをみんなで守り育て伝えます みんなで守り育てるみどりのまちづくり みんなでみどりを守り育てます ●緑のリサイクル事業（剪定枝等チップ化及び堆肥化）に該当	実施
地域振興部	文化観光課	小名木川リバーツアー	（公財）江東区文化コミュニティ財団 東大島文化センター	NPO 法人江東区の水辺に親しむ会	内容：水辺から見た江東区をリバーガイド認定者が船で案内することによって、郷土愛の醸成を育む。 実施日：未定 場所：小名木川及び江東区隣接水辺	荒犬のみ出船せず航行中止
地域振興部	文化観光課	てくてく水辺ウォーク	（公財）江東区文化コミュニティ財団 東大島文化センター	NPO 法人ネイチャーリーダー 江東 KOKOPELLI+	内容：主に大人を対象とした小名木川及び旧中川沿いの散策。12月に旧中川の野鳥観察。地域理解を深める事業。 実施日：12月7日 場所：小名木川・旧中川周辺	実施 12月7日 参加者 20人
地域振興部	文化観光課	川と緑の生きもの展	（公財）江東区文化コミュニティ財団 東大島文化センター	NPO 法人ネイチャーリーダー 江東 KOKOPELLI+	内容：旧中川を中心とした江東区内の自然の生息物に触れて学習できる展示会。 実施日：7月23日～27日 会場：東大島文化センター	実施 7月23日～27日 参加者 1,200人
地域振興部	文化観光課	カヌーで散歩	（公財）江東区文化コミュニティ財団 東大島文化センター	大島カヌー散歩倶楽部	内容：江戸時代から流れる内部河川、消えてしまった川などを座学で学んだあと、カヌーで現地をまわりながら地域理解を深める。 実施日：座学・カヌー事前講習10月12日／本番10月26日 場所：旧中川	実施 10月12日（事前講習） 11月2日（本番） 参加者 14人
地域振興部	文化観光課	小名木川リバーウォーク	（公財）江東区文化コミュニティ財団 東大島文化センター	小名木川リバーガイド倶楽部	内容：大島地域の小学生の地域理解として事前学習と散策で学習する機会を提供 実施日：未定 場所：小名木川周辺	実施 6月4日～12月10日 8校 471人
地域振興部	文化観光課	自然科学教室	（公財）江東区文化コミュニティ財団 東大島文化センター	未定	内容：小中学生を対象とした自然科学教室。昆虫、水生生物、植物や気象・星座など身近な環境や事象について学ぶ。 実施日：未定 場所：未定	未実施
地域振興部	文化観光課	水彩サロン	NPO法人江東区の水辺に親しむ会	なし	実施場所：森下文化センター 実施予定日：5/11(日)、6/8(日)、7/6(日)、9/7(日)、10/19(日)、11/30(日)	実施
地域振興部	文化観光課	お花体験教室	（公財）江東区文化コミュニティ財団 中川船番所資料館	Koto旧中川水彩パークJV	資料館で押し花のしおりの作り方を学び、旧中川・川の駅で夏に咲く花を植える体験を行う。 実施場所：中川船番所資料館、旧中川・川の駅 日程：令和7年4月29日（火・祝）、11月3日（月・祝）	4月29日参加者9人 11月3日参加者16人

令和7年度みどりに関する取組

参考 2

担当部	担当課	取組名	取組主体	関係団体	内容（取組の詳細、日程、場所や補足など）	実績
地域振興部	スポーツ振興課	臨海部巡りウォーキング	(公財) 江東区健康スポーツ公社 有明スポーツセンター	東京体育機器株式会社	国際展示場駅から海の森を目指して約20キロを歩くウォーキングを実施。 日程：令和8年3月20日(金・祝) 参加者(予定)：約30名	未実施
地域振興部	スポーツ振興課	ランニング講習会	(公財) 江東区健康スポーツ公社 深川北スポーツセンター	特定非営利活動法人塩谷レクリエーションクラブ	江東シーサイドマラソン大会対策事業として、主に大会出場予定者を対象に実施。 木場公園にて走り方も含めた9回程度の講習会。	実施 参加者 174人
地域振興部	スポーツ振興課	夢の島ナイトヨガ	江東スポーツ施設運営パートナーズ	なし	夢の島野球場内芝生の上で、夜景を眺めながら行うナイトヨガ。夜景を眺めながら、日常から離れたいふもど違う特別なゆったりとした時間を過ごせる。 8月の金曜日に3回、18時45分～20時に開催。	実施 8月15日・22日・29日(全3回) 参加者 94人
福祉部	長寿応援課	ノルディック・ポール・ウォーキング (健康体炭の講座)	東砂福祉会館	なし	ノルディックポールを用いて、近隣の荒川河川敷や公園等を1時間30分程度散策し、参加利用者の健康増進と併せて「水や緑を楽しむ健康講座」として開催している。 酷暑期(6～8月)と厳寒期(12～2月)を除いて月1回(年度6回)実施している。 「①4/12:8名」「②5/10:7名」「③10/11:2名」「④11/8:5名」「⑤12/13:4名」に行い、「⑥3/21」にも開催予定。	実施 年6回延べ41名参加 予定見込
福祉部	長寿応援課	生花教室 (定期講座)	東砂福祉会館	なし	利用者講座として、近隣の生花店から生花を購入し、参加利用者の講座として開催している。 毎月の講座後に、講座講師が生けた『生花作品』を館内ロビーに展示している。 11月には『生花作品展』を開催し、講座講師と参加利用者の生花作品を館内ロビーに展示している。 月に1回の講座開催(概ね第一土曜日)。 ★生花教室→「①5/24:18名」「②6/14:19名」「③7/5:19名」「④9/13:20名」「⑤10/11:19名」「⑥11/13:11名」「⑦12/13:17名」「⑧12/26:16名」「⑨1/24:17名」「⑩2/21:17名」、「⑪3/7:17名(予定)」 ★生花作品展→11/13～11/15に開催し、講座講師1名と参加者11名が出展	実施 年11回延べ190名参加 予定
福祉部	長寿応援課	ふれあいタイム (併設している児童館との合同企画)	東砂福祉会館/東砂児童館	なし	福祉会館利用者(高齢者・障害者)と児童館利用者(児童・保護者)の多世代交流の一環で、職員が講師となり『フラワーアレンジメント』を実施した。 参加者の成果物は各々持ち帰ってもらい、その他の花は館内ロビー等に展示した。 不定期イベントとしてR7年3月22日に開催。 →令和7年度については、利用者ニーズ減少により実施予定は無し。	未実施
福祉部	長寿応援課	特になし (江東区環境基本計画の一環)	東砂福祉会館	なし	江東区環境基本計画の一環として、東砂福祉会館の敷地内の植え込み内で『芝桜』『黄花メカドニア』『ひまわり』『かすみ草』『彼岸花』を植えて敷地内の緑化を進めている。 利用者や会館関係者等が持ち込んでくれる花や植物を館内や敷地内で飾っている。 敷地内に自生している『シソ(大葉)』『芽ネギ』『ミョウガ』『ユッカ』『芍薬』と併せて、『ミニトマト』『キュウリ』を植える計画で苗を育成中であり、その成果物の収穫祭も企画している。成果物の収穫祭については、枯れてしまったものも複数あったため施設行事として実施はしていない。	実施
福祉部	長寿応援課	かめふく農園	亀戸福祉会館	福祉会館職員 利用者ボランティア	屋上：屋上の畑にきゅうり、インゲン、かぼちゃ、トウモロコシ等を利用者ボランティアが自主的に植えて育て、収穫する。 ベランダ：チューリップ、フリージア、ハーブ、シソ、ラデッシュ、プチトマト等を利用者ボランティアが植えて育て、お花は館内に飾る。	実施 参加ボラ8人(屋上4名、ベランダ4名)
福祉部	長寿応援課	ネイチャークラブ	グランチャ東雲		毎月1回グランチャ東雲の屋上庭園で親子、シニアを対象に行うプログラム。 ①花や野菜などの植物の苗を植えたり、観察日記を書いたり、売った野菜を食べしてみるなどの活動。 ②カブトムシを幼虫から育て、4月～9月頃までの期間幼虫の段階から成虫に育つまで、見たり触ったり、観察日記を書いたりしてもらう。 ③水槽で小さな魚を育てており、参加者に餌をあげてもらったり、観察日記を書いてももらったりする。	実施 11回 延べ273名参加 予定見込
福祉部	長寿応援課	水やりタイム	グランチャ東雲		毎月2回親子、シニアを対象に行うプログラム。 グランチャ東雲の屋上庭園で育てている花や野菜に水やりをして、一緒に観察をする。	実施 15回 延べ216名参加 予定見込
福祉部	長寿応援課	グランチャガーデンクラブ	グランチャ東雲	豊洲ぐるりパークセンター	豊洲ぐるりパークセンターにて行われているガーデンクラブにて、グランチャ東雲のシニアの利用者と出かけて共にガーデニングを楽しむ。	実施 11月7日 参加者8名
福祉部	長寿応援課	みどりのカーテン	城東ふれあいセンター	センター職員 ボランティア	敷地内にてゴーヤを植え、7月・8月頃にみどりのカーテンを実施	実施 参加ボラ6人

令和7年度みどりに関する取組

参考 2

担当部	担当課	取組名	取組主体	関係団体	内容（取組の詳細、日程、場所や補足など）	実績
こども未来部	こども家庭支援課	千田村	千田児童館	なし	・千田福祉会館・児童館の屋上で毎月1回小学生イベントとして野菜の種や花の苗を児童と一緒に植えるなど育てる ・千田村で育て収穫した野菜などは利用者の方にも触れられるように配置する 千田福祉会館・児童館の屋上で月に1回、小学生イベントとして、野菜の種や花の苗を児童と一緒に植え育てる。 イベント日以外でも雑草取りや水やりを来館している児童に声をかけ実施する。 館内に千田村で育てた花を飾ったり、利用者の方が収穫した野菜に触れられるよう配置したりする。	実施
こども未来部	こども家庭支援課	辰巳菜園	辰巳児童館		児童館3階にて、プランターで季節に応じた野菜等を育て、行事の中で利用者と共に収穫する。	実施
こども未来部	こども家庭支援課	親子でミンミン観察隊	辰巳児童館	NPO法人ネイチャーリーダー 江東	NPO法人ネイチャーリーダー江東の協力を得て、紙芝居を用いた解説後、館庭や辰巳の森海浜公園でセミの羽化観察会を行う。親子で自然に触れ、自然の神秘や生命の大切さを感じることを目的とする。（8月上旬に実施）	実施
こども未来部	こども家庭支援課	みどりのカーテン・亀戸農園	亀戸児童館	なし	・児童館の入り口に緑のカーテンを設置している。 ・食育の観点も含めて、2Fテラスのプランターを利用して野菜を育て収穫している。	実施
こども未来部	こども家庭支援課	かめsunガーデン	亀戸第三児童館	なし	・スカイsunガーデンで季節の花や野菜を育てて植物の世話や観察を通じて植物に親しみ、豊かな心を育てることを目的として取り組んでいる。 ・乳幼児プログラムでプランターに種まきや水まきを親子でして収穫体験をしている。 ・日々の水やりや花がら摘みなど希望者を募って実施。気軽に植物のお世話を、お手伝いをする機会を提供している	実施
こども未来部	こども家庭支援課	親子でセミの羽化観察会	小名木川児童館	NPO法人ネイチャーリーダー 江東	NPO法人ネイチャーリーダー江東の協力を得て、隣接する北砂五丁目目地帯に広がる樹林地（憩いの森）に於いて親子でセミの羽化観察会を行う。セミの羽化に関するお話と併せて、親子で自然と触れ合いながら、自然の神秘や生命の大切さを感じ、また自然に親しみを持たせることをねらいとする。（年に一度、夏休み期間中に開催）	実施
こども未来部	こども家庭支援課	野菜を育てよう	小名木川児童館	URリンケージ	UR団地内に野菜の種を植えて育て、利用者と収穫する。	実施
こども未来部	こども家庭支援課	植物を育てよう！『チューリップ』	東砂第二児童館		東砂第二児童館玄関前のスペースにプランターでチューリップの栽培を行う。 利用児童に来館時や退館時に水まきのお手伝いいただき乳幼児、児童に花を楽しんでもらう。	未実施
こども未来部	こども家庭支援課	児童館宿泊体験事業	東砂第二児童館		東砂第二児童館前の駐輪スペースの緑地部分の手入れを草花の種類などを学習しながら、館行事の一環として利用児童皆で楽しみながら体験する。	未実施
こども未来部	こども家庭支援課	Mama'sリフレ「香りの花束」	東砂第二児童館		乳幼児保護者向け行事として講師を招き、ハーブなどの草花を使って花束を作る。	6月17日 参加16人
環境清掃部	温暖化対策課	森林体験ツアー	江東区	大田原市	ゼロカーボンシティ江東区の実現に向けた意識啓発・行動変容や森林再生への取組みを進めていくため、大田原市での森林体験ツアーを試行的に実施	実施 11月29日 (土) 参加者 17組34名
都市整備部	まちづくり推進課	運河ルネサンスによる運河等を活用したイベント	運河ルネサンス協議会	まちづくり推進課、他関係所管 (オブザーバーとして参加)	運河ルネサンスとは、東京都港湾局が推進する制度であり、運河の水境利用と地域が一体となり、にぎわいや魅力等の創出を目的とした取組みである。町会、地元企業等から構成される協議会が主体となって活動し、区内において2地区が運河ルネサンスの指定を受けている。 (1) 豊洲地区運河ルネサンス協議会 豊洲・東豊運河にて活動。令和7年度のイベントは5/31(土)・6/1(日)に実施予定。 (2) 東陽・新砂地区運河ルネサンス協議会 汐浜・汐見運河にて活動。令和7年度のイベントは11月頃に実施予定。	(1) 5/31中止 6/1 実施 (2) 11/7、 11/8実施
都市整備部	まちづくり推進課	水辺のまちづくり懇談会	清澄一丁目町会	(共催) 株式会社帝國倉庫 (協力) 東京大学	開催頻度：令和7年12月20日に第9回「水辺のまちづくり懇談会」が開催され、1年間で計1回開催。 参加者：清澄一丁目の住民や本社所在企業を中心に30～50名程度 目的：まちづくりに関する講演会や参加者の交流会を行うことで、自由に意見交換できる場を継続的に設け、地区のさらなる発展を目指すための人のつながりを生み出す。 ※隅田川及び小名木川に隣接している。	実施
土木部	河川公園課	公園賑わい創出イベント	江東区土木部河川公園課	物林株式会社	実施場所：大島九丁目すくすく公園 日程：4月26日(土)実施、10月～11月実施予定 内容：モバイル遊具、マルシェ、プレーパーク	実施 4月26日、11月29日

令和7年度みどりに関する取組（各公園指定管理者等の取組）

公園名	指定管理者	取組内容	所管部署・備考
旧中川水辺公園	Koto旧中川水彩パークJV	旧中川・水彩ガーデンクラブ、水辺の生物観察会、旧中川ガーデンイベント（チューリップ球根植え、ラベンダー植え、花の種まきや植え込み体験（中川船番所資料館や青少年交流プラザと協働））	施設保全課
若洲公園	東京港埠頭株式会社	クリスマスリース教室、壁面緑化	施設保全課
豎川河川敷公園	オーエンス・フクシ・天龍グループ	野外自然教室、特別支援学校との花壇整備事業、ボランティアによる花壇整備	施設保全課
豊洲公園、 豊洲ぐるり公園、 豊洲六丁目公園、 豊洲六丁目第二公園	豊洲パーク マネジメントJV	豊洲ガーデンクラブ、植物育てのキホン講座、パークガーデン実践講座、親子で学ぶ豊洲SDGs菜園、草木染講座、寄せ植え講座、豊洲リカラボ、グリーンライフ講座	施設保全課



旧中川水彩ガーデンクラブ
（旧中川水辺公園）



親子で学ぶ 豊洲SDGs菜園
（豊洲公園）